乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年12月号 JCI

CONTENTS

◆理事長総括
◆11月例会
◆文化少年団事業
◆乙訓JC説明会
◆出向事業紹介
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内
◆乙訓メンバーの全力通信

理事長 総括

総括～今年一年を振り返って～

第四十一代理事長　達城　英治

二〇二〇年度、「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」をスローガンに掲げ、誇れる乙訓（まち）であり続けるために、乙訓青年会議所メンバー全員が全力で行動して欲しいという想いを込め、一年間活動に邁進して参りました。

二〇二〇年一月八日（水）一月例会・新春交歓会を最高の形で迎えることができ、二月例会では乙訓ＪＣメンバー全員での会員拡大に向けた意識を醸成し、「さぁ、ここから！」と思っていた矢先に、新型コロナウイルス感染が日本で発生しました。その後日本各地でクラスターが発生し、世界は先の見えない不透明な状況に陥り、私たちの活動においても先が見えなくなったときがありました。三月例会を中止とし四月例会からＺＯＯＭを使用したＷＥＢでの例会開催としながらも常に新型コロナウイルスに関する情報を集めこの状況においても自分たちに何かできることがないかと模索し続ける日々でした。葛藤し続ける日々のなか、例会開催に尽力してくれた各委員長には、本当に感謝しかありません。新型コロナウイルスが生活や活動に大きな影響を与えるなかでも、仲間とともに全力で与えられた役割や役職を全うしようとする姿勢は、周囲に影響を与え、自身の成長や誇れる仲間という今後の人生の糧に繋がっていると感じ、大変嬉しく思います。

私たちは、先行きが不透明な時代であったとしても、乙訓（まち）を明るく導くことのできる存在であり続けなければなりません。そのためにも、私自身が乙訓青年会議所の先頭に立ち、多くのメンバーの想いを背負いここまで走り切れたことは、先輩諸兄姉や家族周囲の方々のお陰だと感じております。

最後に、当初思い描いていた形とは異なりましたが、その反面、普段感じられないことやメンバーの想いを深く知れる機会が数多くありました。また、最後まで自分たちの役割を全うしてくれたことにより、メンバー一人ひとりに大きな成長があったと信じております。今まさに、二〇二〇年度の運動が二〇二一年度に引き継がれようとしています。メンバーの皆様には新たな役割をしっかりと全うしていただき、乙訓青年会議所への「誇り」を胸に、未来がより良いものとなるよう、ともに邁進して行きましょう。一年間ありがとうございました。

新入会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。

乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。

ご興味ございます方は

公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）

までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　4名

正会員数　51名

（2020年11月26日現在）

をしたい方と、ボランティア活動者にお手伝いをしてほしいという方との調整や、ボランティア活動に関する相談、情報の提供、ボランティア講座・研修会の開催、ボランティア保険の窓口といった様々な取り組みを行っておられます。また、災害ボランティアセンターでは、自助や共助について考える機会となる防災講演会や災害ボランティア講座などを毎年実施しておられます。そのほかにも、「地域福祉センターきりしま苑」の運営、地域活動に役立つ備品などの貸し出しを行っておられます。コロナ禍で直接ふれあえる機会が減っている状況だからこそ、人と人の絆の大切さを改めて考え、地域での様々なつながりを安心と感じられるよう、みなさまと一緒に地域づくりを進めていきたいと考えております。

次回例会案内

【12月例会】（対内事業）

１２月例会では、乙訓青年会議所の継続的な発展と活動意欲の向上のため、例年開催されている褒賞授与式を執り行います。２０２０年度、顕著な活躍をされたメンバーを称え、表彰することで、メンバーの青年会議所活動を行う励みとさせて頂きます。

【開催場所】ＡＮＡクラウンプラザホテル京都
２階　平安の間
（卒業式・忘年会に同じ）

【日　時】１２月１０日（木）
１３：３０～１６：００
（登録開始　１２：３０）

【担当委員会】総務財政委員会

【卒業式・忘年会】

卒業式では、これまで「明るい豊かな社会の実現」に向けて邁進してこられた卒業生の活動と功績への敬意と、それぞれの想いを未来へ繋ぐとともに、組織をより強固なものにする必要があると考え、卒業生の雄姿や青年会議所活動に対する意識を継承し、組織のさらなる向上へ繋げることを目的として開催させて頂きます。

忘年会では、メンバー同士が本年度の活動を認め、活動に支援してくださった先輩諸兄姉への感謝と全員が全力で取り組める環境を次年度へ繋ぐ必要があると考え、メンバーのさらなる活動意識向上となるように一年間の感謝を伝え、先輩諸兄姉とのさらなる協力関係に繋げることを目的として開催させて頂きます。

【日　時】１２月１０日（木）
卒業式　１６：２０～１８：３０
（登録開始　１５：５０）
忘年会　１９：００～２１：００
（登録開始　１８：３０）

【担当委員会】信頼構築委員会

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

全力で取り組んでいること
【数字を軸に、目的から現状を把握し、課題を見つけ改善を繰り返す】

『Webマーケターとして、インターネット広告を使ったマーケティングをおこなっており、顧客商品の販売促進のため、工夫を凝らしています。マーケティングに正解はないため、「なにをいつ、どのくらい」ということを常に考えながら仕事に取り組んでいます。』

小澤委員の全力動画はこちら→

メンバープロフィール

名　前	小澤　遼介【おざわ　りょうすけ】
所属委員会	総務財政委員会
役　職	委員
入会年	2020年

共感創造委員会より一言

11月入会の小澤君。
最後の12月例会を担当委員会として全力で取り組むことで、来年からの活動に弾みをつけてほしいと思います。

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

十一月例会

二〇二〇年十一月十二日（木）長岡京市中央生涯学習センター　三階メインホールにおいて、公益社団法人乙訓青年会議所十一月例会が人財育成委員会の設えのもと、「周囲の人びとを巻き込み、協働して課題解決に取り組む人財」へと成長して頂く一助となることを目的とし開催されました。講師対談として「悪疫退散祈願　Ｃｈｅｅｒ　ｕｐ花火」の仕掛人である有限会社池本煙火店の池本敏和氏と株式会社國友銃砲火薬店の上埜昌紀氏をお招きし、発案から開催までの経緯、その後の周囲の反応などをお話し頂きました。また、当日ライブ配信をした動画を乙訓ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルにてアップしておりますので、是非この機会にご視聴ください。

乙訓文化少年団事業

二〇二〇年十一月一日（日）乙訓文化少年団十一月事業を小倉神社裏山にて開催しました。本年度は新型コロナウイルスの影響で集まっての事業開催は今回が初めてとなりました。今回の事業は「久保川と天王山の森を守る会」の皆様にご協力をお願いし、市政で推進されている竹林の伐採地域に植樹を行いました。竹の根は横に向かって密に張るので、水のろ過が不十分となり地下水の水質が落ちてしまうため、竹林を伐採している箇所の地滑りを防止する目的で植樹を行っています。植樹の一環として、乙訓文化少年団の子供たちに、イロハモミジや赤松、エノキなど六種の苗を植えてもらいました。植樹場所に行くまでに、斜面など多少危険な部分もありましたが、乙訓青年会議所メンバーが子供たちをサポートし、みんなで楽しく地域の自然環境を整備するお手伝いができました。

乙訓ＪＣ説明会

二〇二〇年十一月二日（月）ディスカバー長岡京のカフェ＆バー「まちバルＳＵＢＡＣＯ」にて、第五回乙訓ＪＣ説明会が魅力拡大委員会により開催され、五名の入会候補者の方々にご参加頂きました。

今回の第五回をもちまして、本年度の乙訓ＪＣ説明会がすべて終了となりました。総勢二十五名による入会候補者から、四名の方に入会して頂くことができました（十一月二十四日時点）。当初年間十回開催を予定していた乙訓ＪＣ説明会ですが、新型コロナウイルスの影響もあり、五回の開催となるなど、予定していた通りの開催ができない状況となりました。しかし、乙訓青年会議所メンバーが一丸となって、乙訓ＪＣ説明会を無事に終えられたことは、今後の難局を乗り切れる自信に繋がったのではないかと思います。

乙訓ＪＣ説明会の全日程は終了しましたが、会員拡大活動は二〇二〇年十二月三十一日まで続きます。最終最後まで全力で取り組みますので、入会候補者をご紹介頂ける方や乙訓青年会議所に少しでもご興味ある方は魅力拡大委員会　委員長　佐々木彰吾（〇九〇‐八二三〇‐四四六六）までご連絡ください。

京都ブロック協議会　ブロック大会

二〇二〇年十月二十三日（金）第四十八回京都ブロック大会が舞鶴の地にて開催されました。また京都ブロック協議会ブロック大会運営委員会の設えのもと、府内各地青年会議所のメンバーはＷＥＢによる参加となりました。

第一部はフォーラム「Ｅｖｏｌｕｔｉｏｎで地域を変えるビジネスプランコンテスト」をＷＥＢ上のバーチャル空間で開催し、参加メンバーはアバターを介して講演を視聴しました。

また、第二部では大会式典が開催され、褒賞授与式やブロック会長引継式が中継されました。

会長引継式では、二〇二一年度京都ブロック協議会会長である達城英治君が、櫛田直前会長より会長バッチとブロック旗を引継ぎ、京都ブロック協議会メンバーに向け挨拶をされました。

ＷＥＢによる中継を見ることで、二〇二一年度の京都ブロック協議会を乙訓青年会議所が中心となって牽引していく実感が湧きました。

京都ブロック協議会ブロック大会運営委員会には、飯野委員、村田委員、森（麻）委員が出向されています。

横浜世界大会

二〇二〇年十一月三日～七日にかけてパシフィコ横浜にて、二〇二〇年世界会議　横浜大会が開催されました。

そのなかで、乙訓青年会議所メンバーが出向しているＳＤＧｓ推進会議が、六日のＪＡＰＡＮ　ＦＯＲＵＭ１「次世代と考えるｗｉｔｈ　コロナの資本主義」と、七日のＪＡＰＡＮ　ＦＯＲＵＭ２「ＳＤＧｓ×ファイナンスがもたらすレジリエンス」を担当しました。

ＦＯＲＵＭ１では、ジャック・アタリ氏に今後の資本主義の在り方を講演頂き、パネルディスカッションにて、我々の目指す持続可能な社会の実現のための手法を話し合いました。またＦＯＲＵＭ２では、パネリストより中小企業の課題について 中小企業の成長と密接な関係のある金融という側面からお話頂きました。

乙訓青年会議所から、田中（望麻）副議長、平木小幹事、谷小幹事、河地議員、髙橋議員、田中（炳穂）議員が出向されています。

地域諸団体紹介
【向日市社会福祉協議会】

向日市社会福祉協議会ボランティアセンター様は、ボランティア活動の輪を広げて、住民がともに支え合うことによって、地域に住むすべての人が、心豊かに暮らすことができるまちづくりを目指しておられます。そのため、ボランティア活動を行いたい人と、ボランティアの手助けがほしい人の相談を受け付けておられます。また、ボランティアを行っている団体を支援するため、活動の仲介や助成金の申請なども行っておられます。

本会センターに個人・団体登録いただくと、年三回ボランティア情報誌をお届けするほか、ボランティアに関する企画の案内、市内の小中高等学校を中心に福祉教育の推進の協力呼びかけなど、ボランティア活動にかかわっていただけます。

「福祉関係の仕事に興味があり、ボランティアで体験してみたい」「何か新しい活動をしてみたい」「施設に音楽ボランティアに来て欲しい」「趣味や特技を地域に生かしてみたい」と思っている方は、まずはお電話でご相談ください。

【問合せ先】
向日市社会福祉協議会ボランティアセンター
〇七五‐九三二‐一九六一

地域諸団体紹介
【長岡京市社会福祉協議会】

社会福祉法人長岡京市社会福祉協議会様では、「みんなで支えあい・助けあえる地域づくり」のために、ボランティア活動や市民活動の支援を行っておられます。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年11月号 JCI

CONTENTS

◆卒業生対談　◆10月例会
◆FTセミナー事前説明会
◆第1回臨時総会
◆文化少年団事業
◆卒業生企画
◆乙訓メンバーの全力通信
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

地域諸団体紹介【セブン商店会】

セブン商店会様は、阪急長岡天神駅から北に続くセブン通りを中心とした周辺六十三店舗からなる商店街です。「地域の安心安全に貢献し、人々とお店を繋ぐ、みんなにやさしい商店会」を目指しておられます。

セブン商店会様では、様々な商店街イベントを企画され、「セブンのひまわりプロジェクト二〇二〇」では、商店街がひまわりで溢れ地域の元気を創出しています。また、第五回となる「セブンのハロウィン二〇二〇」は、今年もコロナ禍に負けることなく開催され、近隣の保育園児二百名が仮装し商店街を笑顔でいっぱいにしてくれました。

広報では、二ヶ月に一度、加盟店舗様向けの「セブンニュース」を発行されています。セブン商店会であった出来事やこれからのイベント新しいお店様の紹介などを掲載されておられます。

セブン商店会様は、ホームページやＦａｃｅｂｏｏｋで様々な企画について紹介を行っておられますので、ご興味のある方は是非ご覧下さい。

地域諸団体紹介【OTOKUNIレザミ】

ＯＴＯＫＵＮＩレザミ様は「まちとママとお店をつなげ、にぎわいに結びつけたい。子育て世代が活躍するきっかけを提供したい」との想いから、二〇十七年に設立されました。レザミとはフランス語で“友達”という意味です。地域と子育て中のママそして乙訓地域の子育て世代に向けたイベント企画や長岡京市の広報支援などを行っておられます。また、子育て世代を応援する地元企業と乙訓地域で個人事業主として頑張るママたちが連携し、まちを元気にする活動にも取り組んでおり、ＪＲ長岡京駅前広場を活性化するためのイベントやマルシェを開催しておられます。それ以外にも、防災動画を市内在中の若者とママで作成しＮＨＫでも紹介されました。

情報発信として、赤ちゃんとママと地域をつなぐコミュニケーション創造プロジェクトの情報誌「ママパスポート長岡京」を、地域の子育て中のママたちが作成・発行しておられます。情報誌には、赤ちゃんとママや妊婦さんに知ってもらいたい地域のお店やサービスなど、ママ目線でピックアップ＆リサーチした情報を掲載しています。またママが赤ちゃんと一緒に楽しめるイベントを行政やお店へ企画・提案・開催するなかで関わりのある方々や読者ママとの繋がりを大切に活動しておられます。

卒業生対談・後半

卒業生対談
理事長と卒業生との対談
対談メンバー
達城理事長（以下、理事長）
坂元陸君　（以下、坂元）
田村直毅君（以下、田村）
林哲司君　（以下、林）
石井佑典君（以下、石井）
平木竜馬君（以下、平木）
山城直也君（以下、山城）

前号から続き

（理事長）それでは、平木君の一番印象に残っていることは何ですか。

（平木）色々ありますが、やはり委員長のときですかね。一番初めに集まるときにどれだけのメンバーが来てくれるか不安だらけでした。一月が担いなので早い時期に集まり、メンバー間に距離があるときに大塚君や今井君と色々話し合ったことを覚えています。

（理事長）山城君も今年の委員長経験が一番の出来事として挙がってきますか。

（山城）もちろん貴重な経験ですが、それよりも委員長をやろうと前向きになれた出来事として、昨年の京都ブロック事務局出向が挙がりますね。三十七歳での入会でしたが価値観がこれほど大きく変わったのには驚きました。配信作業などで集まったときにＪＣのことを含め色々相談できたことや、出向をやり切れるように支えてもらえたことには感謝しかないです。

（理事長）人生のターニングポイントになるかもしれませんね。石井君は振り返ってみていかがですか。

（石井）やはり、自分の仕事をするだけでは出会えなかった人との交流は思い出に残っていますね。乙訓地域に住んでいるので、自分の子供を含め多くの子供達に楽しんでもらえたことは、ＪＣ運動をしていて良かったと思います。また、例会事業で講師として林修先生に来て頂き、バンビオの会場を満員にすることができたのは印象的でした。

（理事長）たしかに林先生の講演には、たくさんの人に来て頂けましたね。それでは、卒業生として現役メンバーにエールなど頂けたらと思いますが、石井君いかがですか。

（石井）今年はコロナで大変だと思いますが今を楽しんでほしいです。そしてＪＣに必要なことは団結することです。みんなが力を合わせて頑張ることが大切だと思います。

（山城）そうですね。面倒くさいという気持ちをなくし、とりあえずやってみよう、参加してみようという姿勢が大切ですね。

（坂元）何の為にＪＣをやっているかを思い出してほしいですね。入るときには目的があったはずなのに、みんな忘れています。入ったから終わりではなく、みんなで活動しているのだから、目的を達成しなければ意味がない。だから、事業一つとっても出席率が低下しているしメンバー同士の繋がりも希薄化している。

（理事長）せっかくメンバーがしてくれているのだから、頑張って参加しよう。たしかに、そういう気持ちで行っていましたね。

（林）運動や活動が受け身になっていますね。会議を通すためにやっているだけで、これがしたいという声がない。

（田村）目的意識が希薄なのだと思います。まずは行動しなければ分からないのがＪＣだと思いますし、どんどん参加をしていってほしい。

（平木）あと、みんな途中でやめないようにしてください。卒業は当たり前のようでそうでない。無理のないようにＪＣ運動を最後まで続けていってほしいです。

（理事長）まずは、自分で判断して決めていってほしいですね。

短い間ですが現役メンバーに色々と伝えてあげてください。よろしくお願いします。

次回例会案内

【11月例会】(オープン事業)

公益社団法人乙訓青年会議所では、周囲の人を協働に導く人財へと成長して頂く一助となることを目的とし「１１月オープン例会」を下記の通り開催致します。

講師に、「ｃｈｅｅｒ　ｕｐ花火」の仕掛人である有限会社池本煙火店の池本敏和氏と株式会社國友銃砲火薬店の上埜昌紀氏をお招きし、どのようにして開催することができたのかをお話頂きます。

なお、コロナ感染防止策とし当日会場には１３５名限定でお入りいただけます。会場にお越し頂けない方は、乙訓青年会議所ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルライブ配信にてご視聴ください。

下記のＵＲＬからライブ配信をご覧下さい。

【開催場所】長岡京市中央生涯学習センター
３階メインホール
【日　　時】１１月１２日（木）
１９：００～２０：１０
【担当委員会】人財育成委員会

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。

乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。

ご興味ございます方は

公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）

までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　4名

正会員数　51名

（2020年10月22日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

十月例会

二〇二〇年十月八日（木）長岡京市立産業文化会館　一階大会議室において、公益社団法人乙訓青年会議所十月例会が共感創造委員会の設えのもと開催されました。

本例会は出向をテーマに、乙訓青年会議所の活性化に繋げるため次年度の出向意欲を向上させることを目的として開催されました。まず委員会発表では、出向先の組織図から本年度の出向者紹介をするとともに、メンバーへの事前アンケートから考察した出向に対する認識や、出向での成長のプロセスを説明しました。次に出向経験者として上原史明君、坂元陸君、田中望麻君から出向での学びや経験などを発表して頂きました。聞いて頂いたメンバーに、より具体的に出向に対するイメージをもって頂くことで、次年度の出向について考えて頂く機会となりました。また、二〇二一年度には乙訓青年会議所から京都ブロック協議会会長を輩出することについて岩本伸一君より次年度の思いを話して頂くことで乙訓青年会議所メンバー全員が一丸となって出向に取り組むことの重要性を認識し、次年度に向けた気持ちを新たにするきっかけとなりました。

本年度の活動と、次年度への準備のための活動が交錯する今だからこそ今年度の出向を振り返り、次年度へ向け気持ちを新たにすることが必要なのだと思いました。

FTセミナー事前説明会

二〇二〇年九月三十日（木）　公益社団法人乙訓青年会議所　FTセミナー事前説明会が魅力拡大委員会設えのもと、長岡京市中央生涯学習センター二階　市民ギャラリーにおいて開催されました。

FTセミナーとは、乙訓青年会議所へ新しく入会したメンバーを対象に、組織の本質についての理解と、受講者同士の強固な結束力を今後の活動に活かすことを目的とした新人研修です。その事前説明会では、FTセミナー当日の事業内容の説明から始まり、セレモニーで唱和しているJCIクリード、JCIミッション、JCIビジョン、JC宣言文並びに綱領の説明、FTセミナー当日の乙訓魅力発見ウォーキング内での課題内容の発表がありました。

本番であるFTセミナーは、十一月二十一～二十二日の二日に分け、一日目はセミナーを受講し、二日目は乙訓魅力発見ウォーキングが開催されます。

第一回臨時総会

二〇二〇年十月二日（金）、公益社団法人乙訓青年会議所　第一回臨時総会が総務財政委員会設えのもと、長岡京市中央生涯学習センター　二階市民ギャラリーにて開催されました。

二〇二一年度公益社団法人乙訓青年会議所役員選任（案）が審議され、無事承認されたことで、いよいよ小西光理事長予定者のもと二〇二一年度が動き出すこととなりました。

また後の懇親会を味楽園で開催し、新たな体制のもとでの理事メンバーから意気込みを聞くことで、二〇二一年度のスタートに弾みがつけられたと思います。

乙訓文化少年団事業

八月、九月、十月の文化少年団事業に関しても新型コロナウイルスの影響を鑑みて集まっての開催は中止とし、代わりに動画配信とＺｏｏｍでの開催としました。

八月には、暑いなかでも清涼感を出せるようにとリンゴジュースにひと手間を加え、みんなで乾杯できる「リンゴビール」の料理動画を配信しました。子供だけでも簡単に作ることができ、暑い夏のなかでも家族みんなで清涼感を味わって頂けたと思います。

また九月には、夏バテで疲れている体に元気をつける「マンガ肉」の料理動画を配信しました。先月とは違い油などを使うので親子で仲良く協力して作って頂き、マンガに出てくるような大きなお肉で、コロナに負けない元気を付けて頂けたと思います。

そして十月には、本年度は中止が続くことでまだ集まって顔を合わせていない団員の顔を画面越しにでも合わすことができないかと思い、Ｚｏｏｍで開催することとしました。文化少年団事業をＺｏｏｍで開催するはじめての試みのなか、どのような構成ならば子供達が盛り上がるのかを委員会で話し合いました。そしてＺｏｏｍならではのゲーム、「家にあるもの」でしりとりとする「ものしりとり」と「絵しりとり」を行い委員会メンバーも一緒に大いに盛り上がることができました。

卒業生主催　委員会対抗企画

二〇二〇年九月十九日（土）今年度卒業生が主催する「委員会対抗ちはやふる大会」が京都　嵐山温泉　渡月亭にて開催されました。

委員会ごとのチームに分かれて「かるた大会」を行い、トーナメント形式で順位を競いました。使用した「かるた」はオリジナルで作成され、乙訓青年会議所メンバー一人ひとりをテーマとした読み札と、メンバーの写真が貼ってある取り札からなり、読み札が誰のテーマなのか、みんなで考えながら取り札を選びました。かるたを通じメンバーの知らなかった一面を知ることで、ますますメンバー同士の絆が深まるきっかけとなりました。

また、その後の懇親会では、「委員会対抗ちはやふる大会」の結果発表とＭＶＰの発表が行われました。結果は信頼構築委員会が優勝し、委員会メンバーの田中炳穂君がＭＶＰを獲得しました。

このコロナ禍で例年と異なる活動状況となっているなか、卒業生と交流をもてる機会として、みんなで楽しむことができました。

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

メンバープロフィール

名　前	井谷　拓也 【いたに　たくや】
所属委員会	信頼構築委員会
役　職	委員
入 会 年	2020年

全力で取り組んでいること

【リニューアルオープン】

「まだできることはある！もう一踏ん張り、全力、を出してみよう！閉めるのなら、やり切ってからでも遅くない。」

共感創造委員会より一言

10月に入会したばかりの井谷君。
これからJC活動を全力で取り組むことで自身の成長につなげ、
お店のリニューアルオープンにも全力で取り組んでいってほしいと思います。

井谷委員の全力動画はこちら→

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年10月号 JCI

CONTENTS

◆卒業生対談
◆9月例会
◆防災セミナー
◆乙訓JC説明会
◆出向活動報告
◆乙訓メンバーの全力通信
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

卒業生対談・前半

卒業生対談
理事長と卒業生との対談
対談メンバー
達城理事長（以下、理事長）
坂元陸君　（以下、坂元）
田村直毅君（以下、田村）
林哲司君　（以下、林）
石井佑典君（以下、石井）
平木竜馬君（以下、平木）
山城直也君（以下、山城）

（理事長）ブロック大会みたいな一発物の事業は、すごく思い出に残りますね。

（田村）そこに向けて全力で取り組むからだと思います。僕はみんなを連れていくのが仕事だと思っていました。どうやったら来てくれるのか、どうやったら楽しんでもらえるのかを考えていました。

（理事長）ブロック役員の皆さんに乙訓のメンバーを沢山連れてきてくれてありがとう。元気が良すぎてふらふらになっていますと言われました。それを聞いて嬉しかったです。

（田村）ブロック大会は集大成としての見せ場となり、林君が議案を書いている中でＬＯＭとして、恰好の悪いことはできなかったですね。

（理事長）田村君の人柄もあって楽しめたのでしょうね。

（理事長）それでは坂元君、自身のＪＣ生活を振り返って一番苦しかったことは何ですか。

（坂元）専務理事をしていた、今年度ですかね。

（理事長）また、一番人に助けられたことは何ですか。

（坂元）ＬＯＭでもブロックでも委員長をしていた去年ですね。委員会メンバーあっての委員長だと思いますし、メンバーには本当に助けられました。

（理事長）乙訓青年会議所の歴史を見てみてもこんな経験をされた方はいらっしゃらないでしょうね。

（理事長）林君は、自身のＪＣ生活を振り返って思い浮かぶシーンは何ですか。

（林）入会式のときの自分と今の自分を比較していることが多いですね。

（理事長）入会式はどんな感じでしたか。

（林）ＪＣが大嫌いでしたね。ＬＯＭとかいう単語を言っている自分が嫌でしたね。

（理事長）今の自分と比較してですが、入会当初にＪＣに感じていたことは何ですか。

（林）まずは、どんなところなのかどんな組織なのかを知りたかったですね。

（理事長）入会当初にこんなことがしたいとか展望はありましたか。

（林）特になかったですし、思い浮かばなかったですね。

（理事長）よく入ろうと決意しましたね。

（林）紹介してもらったので。その当時は開業したてで何も会に入っていなかったので。

（理事長）今の自分と比較してみて率直にどうですか。

（林）頭の固い自分が、よくここまで馴染めたなと思います。

次号へ続く

地域諸団体紹介【わくわくキッズ】

わくわくキッズ様は『普段できないような、やったことのないおもしろい遊びをたくさんしよう！！』をモットーに二〇〇四年度に設立された「外遊びサークル」です。

小学一～三年生を対象として、乙訓地域の自然を活用した体験を中心に、幅広い活動をしています。活動は基本的に月に一度、土曜日の午後に行っています。参加費は原則五百円（キャンプ、雪遊びなどの特別回除く）で、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため定員を減らして事前申込制での募集となっています。昨年度の活動事例としては、さわがにとり、ペットボトルロケットづくり、ひみつ基地づくり、クリスマスパーティ、夏キャンプ、雪遊びなどがあります。

わくわくキッズ様の活動に参加してくれている子供たちは皆遊ぶことが大好きで、初めての参加でも、他学区の子供ともすぐに仲良くなって活動を楽しんでいます。子供だけが楽しむのではなく、大人も一緒に遊ぶことができ活動を通して子供のことや教育について、一緒に語り合える場にしていきたいと考えられています。

地域諸団体紹介【西山自然保護ネットワーク】

西山自然保護ネットワーク様は、西山山地にある小塩山に生息するユリ科の植物「カタクリ」の群生地の保護を目的とし、一九九九年に「乙訓の自然を守る会」や「京都府勤労者山岳連盟」などの呼びかけに賛同した乙訓地域の自然保護グループを中心とするボランティア団体です。

西山自然保護ネットワーク様は、カタクリの保護以外にも、小塩山に生息する「春の女神」と呼ばれる美しい蝶「ギフチョウ」の保護にも携わっておられます。（ギフチョウは環境省から絶滅危惧Ⅱ類の指定を受けています。）小塩山では、放置竹林問題に加え、カタクリやギフチョウを見に来る人が増えるにつれ、踏み荒らしや盗掘などの人的被害が増えました。そのため、観察用のコースロープを張ったり放置竹林の伐採を行うなどの環境保全に力を入れておられます。活動にご興味ある方はホームページをご覧ください。

来春も美しいカタクリの花が沢山咲き京都府の天然記念物であるギフチョウが舞う様子を多くの人に見てもらえるよう西山自然保護ネットワーク様は保護活動を行っておられます。活動にご興味ある方はホームページをご覧ください。

次回例会案内

【10月例会】(対内事業)

１０月例会では出向をテーマとし、新入会員や入会歴の浅いメンバーを中心に、今一度出向について理解をして頂き、次年度の出向に対し積極的な参加を促します。まずは乙訓青年会議所メンバーの出向に対する意識や出向の現状を理解して頂きます。次に出向での経験談を聞くことで、出向意欲の醸成に繋げ、メンバー一丸となって次年度の出向に弾みをつけます。

【開催場所】長岡京市立産業文化会館　１階大会議室

【日　　時】１０月　８日（木）
１８：３０～２０：４５（登録開始１８：００）

【担当委員会】共感創造委員会

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、
『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている
20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。
乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人との
ネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動
して頂ける方を随時募集しております。
ご興味ございます方は
公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）
までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名
正会員数　49名
（2020年 9月24日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

九月例会

二〇二〇年九月十二日（土）天王山夢ほたる公園にて、公益社団法人乙訓青年会議所九月例会・乙訓ＤＲＥＡＭフラッグプロジェクト完成披露式が地域未来創造委員会の設営のもと行われました。

今年も例年通り、乙訓ＤＲＥＡＭフェスタを開催予定でしたが、新型コロナウィルスの影響により開催を断念致しました。しかし、これまで乙訓ＤＲＥＡＭフェスタを通じて継続してきた乙訓地域の皆様や地域諸団体の皆様との繋がりが途切れてしまわないために。また新型コロナウィルスの影響により、子供たちの学校行事やクラブ活動・大会が中止となるなか、何かできないかという想いから、乙訓ＤＲＥＡＭフラッグプロジェクトを開催する運びとなりました。

そして、フォトモザイクアートの横断幕「乙訓ＤＲＥＡＭフラッグ」を作成するために、乙訓地域の皆様から写真を募り、厳選した約一六〇〇枚の写真が使用されました。また乙訓ＤＲＥＡＭフラッグプロジェクト完成披露式では、乙訓二〇二〇ドキュメンタリー映像と乙訓ＤＲＥＡＭフラッグ制作プロモーション映像が流れ、二市一町の首長様、地域諸団体の皆様、プロ野球解説者の金村義明様からのメッセージが上映され、乙訓地域へのエールを頂きました。今後も、乙訓青年会議所は地域との継続的な関わりを持ち、接続可能なまちづくりを牽引していきます。ご協力頂いた全ての皆様に感謝御礼申し上げます。

完成披露式の様子は、乙訓青年会議所ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルにて配信しています。是非ご覧ください。

防災セミナー

九月九日（水）十九時より、長岡京市中央生涯学習センター二階　市民ギャラリーにて、防災セミナーが青少年育成委員会の設えのもと開催されました。

本事業では、今まで行われてきた防災や避難所での知識を学んだうえで、新型コロナウイルスなどの感染症対策も考慮した新たな防災を学ぶ機会となりました。今後は、今までのような災害への備えに加え、感染症などの新たなリスクに対して何ができるのかをしっかりと学び、備えていく必要があることを知るセミナーとなりました。

乙訓ＪＣ説明会

二〇二〇年九月七日（月）ディスカバー長岡京のカフェ＆バー「まちバルＳＵＢＡＣＯ」にて、第三回乙訓ＪＣ説明会が行われ、六名の方にご参加頂きました。説明会では、魅力拡大委員会メンバーが乙訓青年会議所の組織や活動、乙訓地域の魅力ともに活動する仲間の魅力を伝えてくれました。

乙訓青年会議所は、二十歳から四十歳の青年経済人の集まりで、人づくりを通してまちづくりを行っています。活動を懸命に取り組んだ先には、「経験」「スキル」「考え方」「仲間」を得ることができます。ご興味ある方は魅力拡大委員会　委員長　佐々木彰吾（〇九〇‐八二三〇‐四四六六）までご連絡ください。

今年の説明会は残すところあと、十月五日と十一月二日となっています。

京都ブロック協議会　新時代のリーダー育成委員会

八月二十九日（土）に、京都ブロック協議会　新時代のリーダー育成委員会のアカデミー事業がＺｏｏｍにて開催されました。

本年度、新時代のリーダー育成委員会は、予測不能で正解のない時代に対応できるよう、組織に属する一人ひとりの多様な個性を引き出し、お互いに機能し合うことのできる人財を育成するために、運動や活動を展開しました。そして、アカデミー事業では、事前に行ったエゴグラム診断の結果をもとに参加者を二十チームに振り分け、「リモ謎」に挑戦して頂きました。「リモ謎」とは、株式会社ＩＫＵＳＡ様のＷＥＢ上で実施できるオンライン謎解きチームビルディングゲームです。謎解きを通してフォロワー（リーダーを支える人）の非能動的及び能動的な状態や環境を認識することができました。

今回のアカデミー事業を通して、「新時代のリーダー」像を伝え、各組織において新時代のリーダーを育成する意識や機運を醸成しました。

今後は、能動的フォロワーを生み出す環境を作る「新時代のリーダー」像を目指し、各地青年会議所での人財育成推進に繋げていきたいと思いました。

新時代のリーダー育成委員会には、小西副会長、中野副委員長、田村委員、河合委員、菜島委員が出向しております。

近畿地区協議会　イノベーション創出委員会

九月八日（火）十八時から一般社団法人シアワセノカタチ様と株式会社ソリューション様の合同ＷＥＢセミナーが行われました。日本青年会議所近畿地区協議会イノベーション創出委員会がパートナー団体として当セミナーの運営に携わりました。

まず第一部に一般社団法人シアワセノカタチ様が提唱されていらっしゃる「ｗｉｔｈＢＡＢＹ」について代表の礒田様からご講演頂きました。子育て世代が働きやすい企業づくりや、話題になっているＳＤＧｓとの関連性についてお話頂きました。

第二部は株式会社ソリューション代表取締役の長友様から「コミュニケーションの質が組織を変える」というテーマでご自身の経営での失敗談や自社での取り組みなどの事例を交えながらお話頂きました。

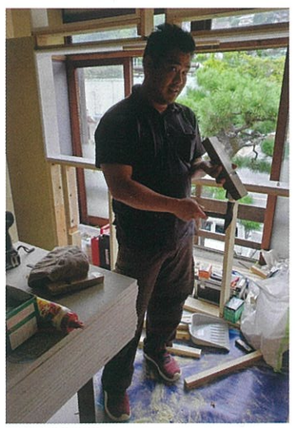
個人間においても組織同士においてもコミュニケーションが必要不可欠であり、そのコミュニケーションを取り合うことこそが人と人との信頼構築や組織の発展に繋がるのだと学びを得ました。

日本青年会議所近畿地区協議会イノベーション創出委員会へは、上原委員長、姜総括幹事、小林副委員長、島本委員が出向されています

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

メンバープロフィール

名　前	高橋　英樹 【たかはし　ひでき】
所属委員会	信頼構築委員会
役　職	副委員長
入会年	2017年



全力で取り組んでいること

【長く住み続ける家を　想いを込め建てること】

お客様に長く住んで頂き
想い入れのある家となるよう
全力で家作りに取り組んでいます。

共感創造委員会より一言

今年は信頼構築委員会の副委員長として活躍している高橋君。
去年もJCの縁の下の力持ちとして、事業の設営などに積極的に
協力してくれました。また、仕事ではYouTubeチャンネルを開設するなど
新しいことにも果敢に挑戦されています。今後ますますの活躍を期待しています。

高橋副委員長の全力動画はこちら→

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年9月号　JCI

CONTENTS

◆8月例会
◆決起大会
◆救援物資・募金活動
◆乙訓JC説明会
◆京都ブロック協議会活動
◆乙訓メンバーの全力通信
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

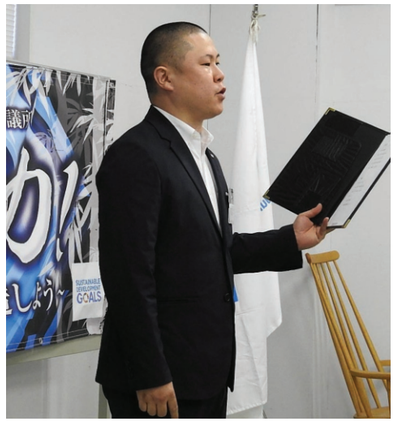
八月例会・納涼会

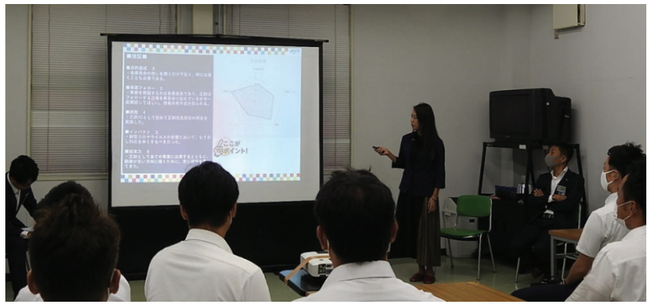
八月十三日（木）、大原野ＳＵＢＡＣＯグラウンドにて、正副理事長メンバーの設える「八月例会・納涼会」が、安全管理を徹底するなか開催されました。

八月例会では、「後半の活動に対する意識を高めるとともに、目標達成へ向けて、主体的に行動できる組織になること」を目的とし、監事が各委員会の前半の事業・活動に対して検証を行い、後半に向けての課題を明確にしました。そして、達城理事長より後半への激励を行うことで、乙訓ＪＣメンバーの後半に向けた意欲向上に繋がりました。

その後、二種類のチームビルディングゲームを行いました。

一つ目の「砂漠からの脱出ゲーム」は、砂漠に遭難したメンバーが不時着した飛行機の中から見つけた十二個のアイテムの重要度についてチームメンバーと合意形成を求めるゲームです。このゲームでは一人で考えて出した答えよりも、チームで考えて出した答えの方が大きな成果を生むことを学びました。二つ目の「野球のポジション当てゲーム」は、それぞれがもっているバラバラな情報をつなぎ合わせると正解にたどり着けるようになっていました。各々が与えられた情報カードの内容を論理的に伝えることの重要性や、把握できた情報の報告・自分のもつ情報の連絡・不明な情報についての相談というコミュニケーションスキル（報連相）の体験をしました。各チームで楽しみながらも互いの意見を出し合うことで、委員会の団結力やメンバー同士の人間関係の向上に繋がりました。





納涼会では、メンバーへの日頃の感謝の気持ちを込めて、正副理事長メンバーが精一杯おもてなしを行い、メンバーの前半の活動を労うとともに後半への英気を養いました。正副理事長メンバーが四チームに分かれ、それぞれが考案したスペシャル料理や飲み物を振舞い、これまでなかなか会うことができなかった多くのメンバーと語らうなど、親交を深めました。

本年度は、新型コロナウイルスの影響で活動が難しい状況にありますが、本例会を機に乙訓ＪＣの全メンバーが結束し、後半も全力で駆け抜ける気概を醸成する機会となりました。

地域諸団体紹介【このめ食堂】

このめ食堂様は、薬や医療に身体を任せるのではなく、もっと自然に、自分の力でありのままに生きられたらとの思いから、伝統療法や自然療法といわれるものを学ぶ場として『おかあさんのためのはじめての東洋医学』を開催し、活動が始まりました。現在は月一回少人数で集まり、子連れの方でも気兼ねなくともに勉強し、興味関心のある方々の交流の場、居場所作りのために、みんなでモノづくりや、地域防災、東洋医学、自然育児の勉強会の開催など、様々な取り組みをして活動されています。

以前は自然育児の勉強会は大阪などでしか開催されず、遠距離を子供同伴で移動し、参加するのは大変でした。そこで、お寺や西山など自然も多く、立地と自然環境に恵まれた長岡京で自然育児に関して学べる場所をつくったことで、地域のお母さんに大変喜ばれています。母親になってもありのままの自分でいられる場所の提供を目指されており、月一回の集まりは常に和やかな雰囲気に包まれ、笑顔で楽しく活動されています。ご興味をもたれたら一度ホームページをご覧ください。

地域諸団体紹介【NPO法人 つどいのひろばねこばす】

「自分たちの子育て期にこんな支援が欲しかった」という思いをもつ有志により、二〇〇一年に任意団体「子育て支援ねこばす」が発足し、行政の保育ルームを利用した預かり保育や、自分たちで企画した講座などを実施され、子育て支援を行ってこられました。そして、母親や妊婦が子連れで気兼ねなく集い、交流できる場の必要性を感じ、二〇一四年にＮＰＯ法人「つどいのひろばねこばす」を設立されました。

そのなかで、子育て相談室「こねくと・すくすく」を開設され、日常のちょっとした相談や問い合わせ、幼稚園や保育園についての情報提供を行っておられます。また自分たちで企画した講座に、歯科衛生士・助産師・保健師・臨床発達心理士などの専門家が来られる日もあり、相談に対して詳しく対応することも可能です。

「つどいのひろばねこばす」様は親子の交流の場として、〇～二歳児を子育てしている方はどなたでも（父母、祖父母など）自由に参加できる場を提供され、子育てをする親子を地域のなかで温かく見守り応援できるよう環境を整えていきたいと考えておられます。詳しくはホームページをご覧ください。

次回例会案内【９月例会】（オープン事業）

乙訓ＤＲＥＡＭフラッグプロジェクト～つなげよう、乙訓のエール～

９月オープン例会では、「乙訓ＤＲＥＡＭフラッグプロジェクト～つなげよう、乙訓のエール～」を実施致します。乙訓地域を愛する人びとの想いを込めた写真を集めて、つなぎ合わせ「乙訓愛」という文字のフォトモザイクアートで横断幕を作成し、乙訓地域の各中学校・高校に寄贈します。「ＤＲＥＡＭ」は乙訓ＤＲＥＡＭフェスタのＤＲＥＡＭ、乙訓二市一町のＤＲＥＡＭチームで創り上げようという思いそして子供たちに夢を与えようという思いが込められています。
新型コロナウイルスの影響により子供たちのクラブ活動や大会が相次いで中止や延期となり、今後も無観客による大会の実施が予定されているなか、光輝く子供たちに向けて乙訓地域からエールを送る企画です。

【開催場所】天王山夢ほたる公園
【日　時】９月１２日（土）
９月例会　１４：３０～１５：１９（登録開始１４：００）
完成披露式　１５：３５～１６：２５（受付開始１５：２０）
【担当委員会】地域未来創造委員会

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、
『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている
20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。
乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人との
ネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動
して頂ける方を随時募集しております。
ご興味ございます方は
公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）
までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名
正会員数　49名
（2020年 8月27日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

決起大会

七月二十八日（火）味楽園において、「公益社団法人乙訓青年会議所　決起大会　二〇二〇　in　乙訓」が信頼構築委員会設えのもと開催されました。

私たち乙訓青年会議所は、今後の情勢を見ながら変更することもありますが、七月の理事会より通常通りに事業や会議を再スタートしました。上半期では、なかなかメンバーに会うこともできず自粛生活を強いられたなか、その上半期にあり余った力を下半期に発揮し、「全員全力！」で乙訓青年会議所を盛り上げていくために、今回開催する運びとなりました。また、下半期の乙訓青年会議所を盛り上げるための一環として、府内各地青年会議所の理事長より応援メッセージ動画を頂き、メンバー全員で拝聴させて頂きました。

また、達城理事長と二〇二一年度乙訓青年会議所小西理事長予定者よりご挨拶を頂くことで、例年のＬＯＭナイト（懇親会）と同様に下半期に対するメンバーの士気を高揚させるとともに、次年度に思いを馳せる良いきっかけとなりました。

令和二年七月豪雨

七月三日の夜から四日の昼にかけ、大雨により熊本県を流れる球磨川水系のある八代市芦北町、球磨村、人吉市、相良村で氾濫、決壊が起こり人吉市の市街地での広範囲の浸水、八代市での流木や土砂による甚大な被害がでました。これを受けて、全国の各ブロック協議会でも支援物資を収集し、被災地へと届ける活動が始まり、京都ブロック協議会においても一般社団法人京丹後青年会議所を救援物資集積所とし、京都府内の各地青年会議所から多くの救援物資が届きました。微力ではありますが、公益社団法人乙訓青年会議所も京都ブロック協議会を通じて、支援物資を送らせて頂きました。

また七月二十日（月）ＪＲ長岡京駅前にて防災支援団体「フセマルプラットホーム」様の「令和二年七月豪雨災害義援金」募金活動を協力させて頂き、一五，〇一八円ものご寄付を頂くことができました。集まった募金は、フセマルプラットホーム様が中央共同募金会を通じて、被災地に送金させて頂きます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

京都ブロック協議会　オンラインサロン

七月二十七日(月)、京都ブロック協議会ＪＣムーブメント創造委員会による女性の会員拡大のためのオンラインサロン『ＪＣＷＯＭＥＮ～女性が輝くＬＯＭ～』が開催されました。京都ブロック協議会より田中望麻君、愛媛ブロック協議会より土居裕子君、東京ブロック協議会より山本莉那君

二〇二〇年度　公益社団法人　日本青年会議所　組織グループ　組織拡大戦略会議より菊地恵乃君の四名をパネリストとして迎え、「女性会員拡大への三ステップ」についてグループディスカッションが行われました。

女性会員拡大が成功した青年会議所の取り組み事例や経験談、女性会員が増えることのメリットや支援策、そして子育てとＪＣ活動の両立など、今活躍している女性会員のリアルな声と女性会員を拡大する際のポイントを聞くことができました。

男性ができること、女性ができることを上手く融合させお互いの良いところを尊重できる活動の創出が今後の拡大に繋がるのではないかと思います。乙訓青年会議所からは冨田副委員長、岡田委員、河地委員、田中（炳）委員が出向しています。

京都ブロック協議会　国際貢献委員会

七月十七日（金）京都ブロック協議会の国際貢献委員会が設えるＳＤＧｓクリニックがＷＥＢにて開催されました。ＳＤＧｓクリニックは、メンバーがＳＤＧｓの理解を深めるとともに仕事に関連付けることを目的とし、毎月開催されています。

第四回目となる今回は、日産スチール工業株式会社代表取締役　西部清志様を講師に招き、ＳＤＧｓの取り組みの過程・成果・コロナ禍におけるＳＤＧｓの取り組み内容を講演して頂きました。実際にＳＤＧｓを取り入れている企業のトップからの生の声を拝聴することができる貴重な機会となりました。

また、八月三日（月）に、同じく 国際貢献委員会の第一回オープン委員会がＷＥＢにて開催され「世界の現状と明日からできる国際貢献」をテーマに、認定ＮＰＯ法人テラ・ルネッサンス 鬼丸 昌也 氏による講演が行われました。

講演では、カンボジアの現状と課題、認定ＮＰＯ法人テラ・ルネッサンスのカンボジアでの取り組み状況について説明がありました。

世界の課題や問題に対して関心をもち、一人ひとりが当事者意識をもって行動する大切さを教えて頂きました。

乙訓青年会議所からは松宮委員が出向しております。

乙訓ＪＣ説明会

八月十日（月）、新型コロナウイルスに対する安全管理を徹底するなか、ディスカバリー長岡京一階まちバルＳＵＢＡＣＯにて、第二回乙訓ＪＣ説明会を開催しました。

今回は一名の参加者があり、魅力拡大委員会メンバーが乙訓青年会議所の組織形態や活動内容を説明しました。また、懇親会では乙訓ＪＣメンバーと参加者が交流を図りＪＣの魅力や活動内容ＪＣ活動で得た学びなどを話しながら親睦を深めることができ、非常に有意義で楽しい時間となりました。

新型コロナウイルスの影響で、本年はＪＣ説明会を開催することが難しい状況ではありましたが一人でも多くの方に乙訓青年会議所を知って頂きまちのために活動する仲間を増やしていきます。

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

メンバープロフィール

名　前	西田 敬一 【にしだ けいいち】
所属委員会	地域未来創造委員会
役　職	幹事
入 会 年	2016年

全力で取り組んでいること

【海釣りが好き・キャッチ&イート】

月一～二回の釣りに行くことで、仕事の疲れを癒しています。気の知れた友人と海の上で過ごす非日常が好きです。釣った魚は持ち帰り、自分で料理し子供の食育にも活かすようにしています。将来は船舶免許を取得したいです。

共感創造委員会より一言

今年度は、委員会の幹事として活躍している西田くん。
仕事や子育ての忙しい合間にJC活動に参加してくれています。
乙訓青年会議所の若手メンバーとして、持ち前の明るさと行動力で
これからの乙訓青年会議所を引っ張る存在になることを期待しています。

西田幹事の全力動画はこちら→

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年8月号 JCI

CONTENTS

◆乙訓いのちのパスプロジェクト
◆オープン委員会・7月例会
◆乙訓文化少年団
◆会長予定者承認
◆乙訓メンバーの全力通信
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

乙訓いのちのパスプロジェクト

六月二十四日（水）公益社団法人乙訓青年会議所が主催する献血事業「乙訓いのちのパスプロジェクト」が、日本赤十字社様ご協力のもと、緊急事態宣言が解除されたこのタイミングで、献血協力者を増やし安定的な輸血用血液を確保することを目的として、イオンモール京都桂川にて開催されました。

新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、日本でも各地において外出自粛要請が出され、献血協力者が減少し、輸血用血液が不足している状況となっています。一日当たり約三千人の患者さんが輸血を受けている現状で、必要な輸血用血液の供給を一時期に偏ることなく確保するためには一日当たり約一万三千人の方の協力が必要であると、日本赤十字社様が発表されています。

このような社会背景のもと、今回の「乙訓いのちのパスプロジェクト」では、日本赤十字社様の当日目標を四十名とし献血活動を開始しました。イオンモール京都桂川の北西側に位置する外部ステージ「桂川舞台」が設置されている広場にて献血バスを配置し、午前の部は九時三〇分～十一時三〇分、午後の部は十二時三〇分～十六時の時間帯で実施しました。普段の献血は二〇〇ml、四〇〇mlと選択できるのですが、今回は四〇〇mlのみとし、年齢は男性が十七歳～六十九歳、女性が十八歳～六十九歳まで、体重が五十kg以上の方のみを対象としました。一度ご協力頂けると献血カードが発行され次回からはカードに記載された献血実施日約三か月後の献血可能日より献血活動に再び参加することが可能となります。

我々、乙訓青年会議所メンバーも当日の呼び込みや、受付の補助、メンバー自身の献血協力に加え、友人、知人に参加協力を呼びかけ、献血活動に参加して頂きました。実施結果として、乙訓青年会議所メンバーを含め五十七名もの方々に、献血にご協力頂けました。今回、ご協力頂きました方々に感謝申し上げます。

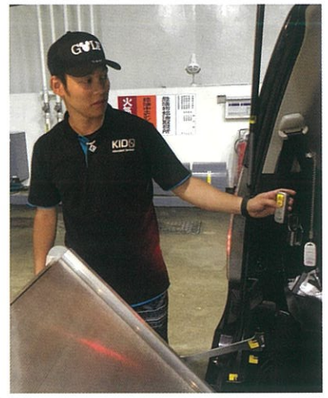
今回の献血活動は、地域の皆様に輸血用血液不足の現状を少しでも認識し、参加協力して頂くことで、人のために役立つ行動をしていると実感してもらう機会となったのではないかと思います。一人ひとりの行動により、乙訓地域が「明るい豊かな社会」となるための確かな一歩に繋がったと思います。

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

全力で取り組んでいること

【障がい者の方々に安心した暮らしを送ってもらうためのお手伝い】

事業所理念である「安心した暮らしと、充実した時を過ごせる場所や活動の提供のため、深く思いやり、地域から厚く信頼される誠実な支援を行います。」をもとに活動しています。



住里委員の全力動画はこちら→

メンバープロフィール

名　前	住里 彰啓【すみさと まさひろ】
所属委員会	地域未来創造委員会
役　職	委員
入 会 年	2018年

共感創造委員会より一言

訪問での障がい者介護事業を行っていることもあり、みんなを包み込んでくれるような、おおらかで優しい住里くん。仕事の勤務時間が不規則ななか、まちのことを考え、委員会活動に積極的に参加してくれています。

地域諸団体紹介【セカンドライフの会】

「セカンドライフの会」様は、二〇一三年に地域と高齢者の架け橋となることを目的として、京都府の地域力再生プラットフォーム事業を活用する団体として設立されました。

地域から孤独な高齢者をなくすために「シルバー懇カフェバー」や「お父さん・お母さんお帰りなさい」などのイベントを開催するなど、老後の居場所づくりのための様々な事業を行っておられます。現在はセカンドライフを迎える方に様々な情報を発信し、セミナーの開催やセカンドライフを安心して過ごせるよう情報の提供をされています。そして過去の活動で培った経験から、セカンドライフを迎える方の指南書となるお役立ちノートの作成に力を入れておられます。

ライフプランやマネープランの作成により、人生をより豊かによく健康的に生きていくための方法、趣味やボランティア活動などの生きがいをもってもらうための方法、自分の人生の締めくくりを考える終活の方法など、全ての人が豊かなセカンドライフを過ごしてもらうための情報を発信されています。

「セカンドライフの会」様は、安心して老後を迎えられる地域を作るために活動をされている会です。是非一度「セカンドライフの会　京都長岡京」と検索してみてください。

次回例会案内

【8月例会】（対内事業）

８月例会は、「後半の活動に対する意識を高めるとともに、目標達成へ向けて、主体的に行動できる組織になること」を目的とし開催されます。まずは、乙訓青年会議所の前半の活動を検証し、後半へ向けて激励を行うことで、後半での巻き返しを図る気概を醸成します。また、２種類のチームビルディングゲームを行い、各委員会の人間関係を向上させ、結果を出し続ける組織となる一助とします。続く納涼会では、前半の活動を労うとともに、後半の活動への英気を養う機会とします。

【開催場所】株式会社ＬＩＶ　ＳＵＢＡＣＯ　グラウンド

【時間】８月１３日（木）
（８月例会）１８：００～２０：４５（登録開始　１７：３０）
（納涼会）　２１：００～２２：３０

【担当委員会】正副理事長

新入会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。

乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。

ご興味ございます方は

公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）

までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名

正会員数　49名

（2020年 7月22日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

オープン委員会報告

六月二十九日（月）十九時より、人財育成委員会が設えるオープン委員会がＷＥＢにて開催されました。

今回のオープン委員会では、宗蓮寺　第十九代住職　尾松　大士　氏を講師にお招きし「人望を得られる人財とは？」をテーマに、お話し頂いた動画を配信しました。

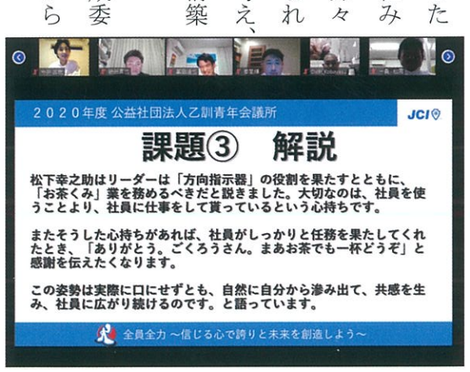
「人望を得る人財」へと成長していくために、日々の行動と発言を一致させ積み重ねていくことが、相手への信頼と安心に繋がることを講演で学び、自分自身の言動に矛盾がないかを改めて見つめ直す良い機会となりました。

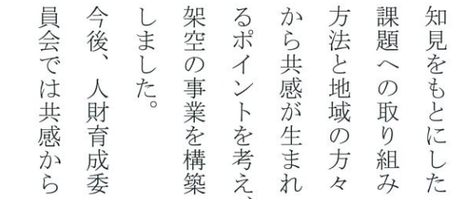
七月例会報告

二〇二〇年七月九日（木）、公益社団法人乙訓青年会議所　七月例会が人財育成委員会の設営のもと、「共感」をテーマに開催されました。本例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Ｚｏｏｍを使用しリモートで実施されました。

第一部の「委員会発表」では、「共感」とは何か？の説明があり、共感を生むのは自分ではなく相手であり相手の気持ちに寄り添うことで共感が生まれるという点について分かりやすく説明されていました。

第二部の「乙訓共感王」では、シチュエーションごとに「共感を生む言葉」としてふさわしいものを考える三択クイズが出題されました。解説時には共感を生むポイントの説明がなされ、共感のメカニズムを学びました。





乙訓文化少年団

乙訓文化少年団七月事業は五月・六月事業に引き続き、子供たちを集めての事業は開催しないこととしました。五月・六月事業では「母の日」「父の日」に合わせ、プレゼント工作キットを送付しました。

今回の七月事業は、家族で過ごす時間がより楽しくなり、子供たちの思い出に残るものにして頂きたいと考え、「家族でつくろう　七夕カレー」の調理方法動画を配信しました。また、子供たちが自ら調理に関わることで、食事を作ってくれる人への感謝の気持ちをもつ良い機会になるのではないでしょうか。

最後に、このような時だからこそ家族で過ごす時間を大切にし、これからも子供たちが健やかに成長できる環境を考える良いきっかけになればと思います。

引き続き、乙訓文化少年団の活動に対するご理解ご協力をお願いするとともに、ＹｏｕＴｕｂｅ「乙訓ＪＣチャンネル」から「家族でつくろう　七夕カレー」動画を是非ご覧ください。

二〇二一年度京都ブロック協議会会長予定者承認

七月二十五日（土）公益社団法人日本青年会議所近畿地区　京都ブロック協議会の第七回会員会議所会議が長岡京市立中央公民館三階市民ホールにて開催されました。

この会議において、二〇二一年度公益社団法人乙訓青年会議所理事長である達城英治君が、二〇二一年度京都ブロック協議会会長予定者として承認されました。

乙訓青年会議所から会長を輩出するということで、多くの乙訓ＪＣメンバーが駆け付けました。承認後に、達城会長予定者の挨拶を多くのメンバーで見守るとともに、二〇二一年度京都ブロック協議会がスタートする大変貴重な機会となりました。

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年7月号 JCI

CONTENTS

◆愛する乙訓を守るために
◆6月例会
◆乙訓文化少年団
◆京都ブロック協議会活動
◆乙訓メンバーの全力通信
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

愛する乙訓を守るための十八の目標

四月十七日に実施された京都府の緊急事態宣言が、五月二十一日に解除されました。かたちのうえでは通常生活を送ることができるようになり、日常を取り戻しつつありますが、まだまだ「三密」を守りクラスターが発生しないよう気を配る日々が続いています。

そのようななか、各自治体において、自治会館などの施設利用再開のために感染拡大防止ルールが決められ、活動が安全に行えるよう取り組みが進められています。我々乙訓青年会議所においても、自治体のルールを遵守するとともに、ルールを視覚的に分かりやすくすることで、このコロナ禍の状況をより安全に過ごせるようにする取り組みが必要であると考えました。

そこで新型コロナウイルス感染の拡大防止に努めるべく「愛する乙訓を守るための十八の目標」を掲げ、今「できること」に取り組んでいきたいと考えています。この「愛する乙訓を守るための十八の目標」の取り組みは、我々と志を同じくする愛知県の半田青年会議所が最初に提案したものとなります。半田青年会議所ではコロナ禍の現状にしっかりと対処をし、正しく恐れ、これ以上感染者と悩み苦しむ人を増やさないための取り組みが必要だと考え、フォーマット画像に各地青年会議所の名前を入れられるようにするなど多くの青年会議所メンバーが活動に参加、共有できるような工夫がされています。

この十八の目標の中身は一番『手洗いはこまめに丁寧に』に始まり、二番『外から帰って来たらうがいを』三番『手洗い後は消毒を必ずしよう』といった基本的な予防対策から始まり、十七個すべての目標を達成した暁には、十八番『新型コロナウイルスゼロ』を達成することができるという取り組みとなっています。これら十八の目標、一つひとつは当たり前のことを掲げていますが、それを分かりやすく図式化することで目にする人への意識を高め参加する人の認識を深めることに繋がっているのだと思います。

このコロナ禍を乗り切るためには一人ひとりが、これら十八の目標を達成するために真摯に取り組むことが何よりの近道であり、我々乙訓青年会議所メンバーも「愛する乙訓を守るため」に十八の目標に取り組み乙訓地域に住み暮らす方々への意識啓発に繋げたいと思います。

地域諸団体紹介
【特定非営利活動法人 乙訓障害者事業協会】

特定非営利活動法人乙訓障害者事業協会さんは「働くことを通じての居場所づくり」をスローガンに掲げられ、地域に潜在的に存在している障がいのある方をはじめ、ひきこもり状態にある方、生活保護受給者の方など日常生活での困難を抱えられている方々に対して行政などと連携を取り、居場所作りや社会参加の場、就労体験の機会を提供されている団体で、今年設立十六年目を迎えられます。

現在、長岡京市内に四ヶ所の拠点を置き、事業展開を行っておられます。バンビオ一階にある喫茶店「カフェ　エポカ」、西国街道沿いの『歩いて行ける道の駅』を目指す「長岡京市立神足ふれあい町家」と「駄菓子屋さん」、長岡天神駅近くの竹製品などの商品作りをされている「バスハウス」を運営されています。喫茶店「カフェ　エポカ」では、現在はコロナウイルス対策としてテイクアウトも始められました。このように困難を抱えられている方々の「働くことを通じての居場所づくり」をお手伝いされています。職員一丸となり地域の方々がお互いに支え合い安心して暮らせる町作りを目指して頑張っておられますのでこの機会に是非一度お立ち寄りください。

地域諸団体紹介
【社会福祉法人 向陵会】

社会福祉法人向陵会さんは、向日市上植野町に乙訓ひまわり園を開設され、これまで就労支援施設や生活介護施設、グループホームなどの福祉サービスを提供されており、今年で二十周年を迎えられます。主に向日市、長岡京市、大山崎町、京都市の西京区や南区などに住んでいる障がいのある方が施設を利用されています。

就労支援では障がいのある方が、パン工房「かけはし」で製造されたパンの販売やクッキーの製作、喫茶店の店員、さらにはクリーニング作業などの仕事をされており、自分らしく楽しみながら責任感とやりがいをもって取り組んでおられます。また、今年四月からは西京区大原野において、就労継続支援事業所「草のたね」を開設し、花卉を地域の方々に販売しておられます。また、生活介護施設やグループホームなどの施設では、利用者が自宅や施設などで安心して過ごせるように利用者一人ひとりの生活を第一に考えた支援を行っておられます。さらには隣接する小学校の子供たちへ学習支援や保護者の方を対象にした相談事業として「子育て応援カフェ事業」などの地域貢献にも取り組んでおられます。

「すべての利用者とその家族が地域の中でいきいきと生活することを願い地域とともに『共生』を目指す」ことを法人の基本理念として掲げ、障がいのある方々が住み慣れたこの乙訓地域で、安心して暮らしていける共生社会をめざし取り組んでおられる事業所です。

次回例会案内
【7月例会】(対内事業)

7月例会では課題解決を通して、周りから共感を得る人財へと成長することを目的に開催致します。まず、地域課題に取り組む他団体の活動事例を参考に共感とは何かを紐解きます。その後「乙訓共感王」と題し、活動事例をもとにしたクイズを行い、共感を生むポイントを学びます。最後に「共感創造シミュレーション」と題し、まちの課題を取り上げ「どのような言動が共感を得ることができるのか」を、柔軟な発想で考え課題解決に向けた発表をする内容となっております。

【開催方法】ＷＥＢ例会

【日　時】7月9日（木）
１９：００～２０：２０（登録開始１８：３０）

【担当委員会】人財育成委員会

新入会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。

乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。

ご興味ございます方は
公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）
までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名

正会員数　49名
（2020年 6月25日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

六月例会報告

二〇二〇年六月十一日（木）、公益社団法人乙訓青年会議所六月例会が青少年育成委員会の設営のもと開催されました。本例会は、オープン例会としては初の試みとなるＹｏｕＴｕｂｅを利用したライブ配信となりました。

子供たちの思いやりの心や、自制心、規範意識の低下が指摘されており、その原因のひとつとして、手本となるべき大人が手本となり得ていない現状があります。子供たちを導く立場にある我々大人が自ら率先して取り組む必要があると考え、道徳心を養う必要性を認識して頂くことを目的に開催致しました。

講師として、乙訓地域で法務省 保護司（京都府乙訓保護区）、親育ネットなど子供たちに関わるボランティア活動を数多くされた子供たちの道徳心の向上は座学だけではなく身近な大人が模範的な行動をとることで、子供たちに道徳心の大切さを自分自身で気付いてもらうことが重要であると教えて頂きました。模範となる大人が子供たちに関わることで子供たちの道徳心の向上と豊かな人間性を育むことを認識することができました。

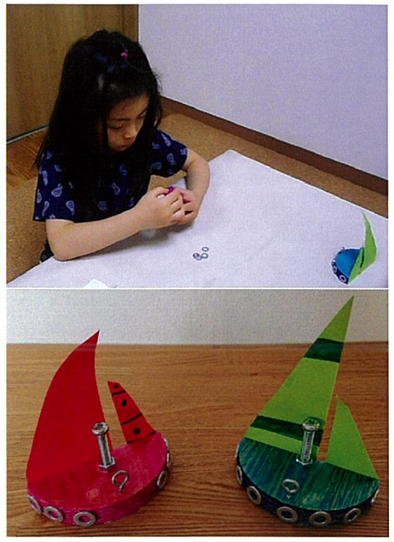
行われている西村日出男様にお越し頂き「道徳って何だろう～異楽共生の生き方～」をテーマにご講演頂きました。道徳とはどのようなものなのかを学び、地域の大人の関わりが「自分だけではなく他人のことについても考えられる子供」の育成に重要であることを認識することができました。また子供たちの道徳心の向上は座学だけではなく身近な大人が模範的な行動をとることで、子供たちに道徳心の大切さを自分自身で気付いてもらうことが重要であると教えて頂きました。模範となる大人が子供たちに関わることで子供たちの道徳心の向上と豊かな人間性を育むことを理解する例会となりました。

本例会は初の試みとなるＷＥＢ配信でのオープン例会となりましたが、この手法をブラッシュアップしていくことで今後の乙訓青年会議所の活動を広く伝えることができる大きな可能性を感じることができました。

京都ブロック協議会 ＳＤＧｓクリニック

六月十九日（金）に公益社団法人日本青年会議所近畿地区 京都ブロック協議会 国際貢献委員会が主催する「第三回ＳＤＧｓクリニック」が【アフターコロナとＳＤＧｓ】のテーマのもとＷＥＢで開催されました。

まずは、このコロナ禍の状況を共有すべく八グループに分かれてグループディスカッションが行われました。職業が異なる参加者同士の意見交換では、業種が違うことで新型コロナウイルスに対する取り組みが異なることを確認しました。また、違う視点から見る取り組み事例は新たな発見に繋がり、他の方が行った取り組みを自身に取り入れる良い機会となりました。



みんなが行う日常の些細な行動が、実はＳＤＧｓに繋がっているということを実感できました。一人ひとりの意識を変え、コロナ禍の状況が終わった後も自分たちには何ができるのかを考えることが、ＳＤＧｓ活動に継続して取り組むことに繋がるのではないかと思います。

さらなるＳＤＧｓの理解の促進と発展のために、来月も国際貢献委員会主催でＳＤＧｓクリニックが開催される予定です。

乙訓青年会議所からは松宮委員が出向しております。

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

メンバープロフィール

名 前	島本 崇弘【しまもと たかひろ】
所属委員会	青少年育成委員会
役 職	幹事
入 会 年	2018年

全力で取り組んでいること

【一歩先行く顧客提案】

営業として全てのお客様に満足して頂くために、建築の現場で求められていることの一つ先を提案できるよう心掛けています。

共感創造委員会より一言

最近、趣味で自転車に乗り始めたようで、京都のまちを自転車で駆け巡っているそうです。冷静でしっかりものですが、まだ笑顔にあどけなさの残る乙訓青年会議所一番の若手です。

島本幹事の全力動画はこちら→

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年6月号　JCI

CONTENTS

◆5月例会
◆乙訓文化少年団
◆京都ブロック協議会活動
◆新入会員募集
◆次回例会案内

京都ブロック協議会 SDGsクリニック

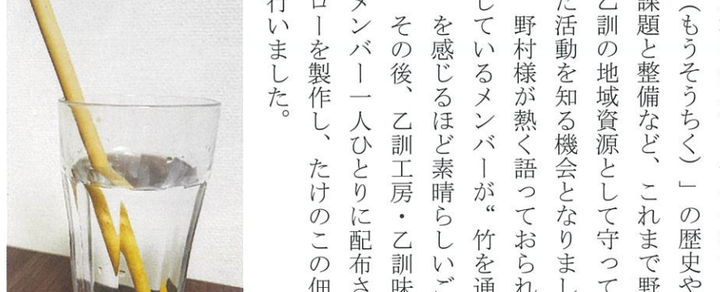
五月十五日（金）、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 国際貢献委員会主催の第二回ＳＤＧｓクリニックがＷＥＢで開催されました。

講師として京丹後青年会議所のメンバーであり、ＳＤＧｓアンバサダーの俣野裕哉君に来ていただき五十名を超える参加者のもと【コロナウイルスとＳＤＧｓ】をテーマに講演していただきました。新型コロナウイルスの影響によって起こっている様々な社会問題のなかには、ＳＤＧｓが掲げる十七の目標に関わっている問題もあり、今後ＳＤＧｓを通してどのように考えていくべきなのかを関連付けて学ぶセミナーとなりました。私達がこのコロナ禍でどのように行動するべきなのか。ＳＤＧｓを活用した明るい豊かな社会の実現を目指すため多くのメンバーにＳＤＧｓへの理解をさらに深める貴重な機会となりました。

乙訓青年会議所からは、松宮委員が出向しております。

五月例会

二〇二〇年五月十四日（木）、公益社団法人乙訓青年会議所五月例会が地域未来創造委員会の設営のもと行われました。乙訓青年会議所は地域との継続的な関わり合いのなかで持続可能なまちづくりを牽引するために、メンバーが乙訓地域の魅力や課題にさらに関心をもつとともに、地域の人びとにまちづくりの主体者意識を波及できる人財となることを目的とし、五月例会を開催致しました。ＷＥＢによる開催となりましたが、第一部の委員会発表～乙訓塾～では、我々の活動拠点である乙訓地域の面積や人口数、歴史ある名所などをクイズ形式で行うことで、乙訓へのさらなる愛着が生まれると考えます。第二部～竹を愛す～では、長岡京市役所 農林振興課 嘱託職員の野村秀明様による講演映像を放映しました。乙訓地域に生息する竹の一種である「孟宗竹（もうそうちく）」の歴史や放置竹林の課題と整備など、これまで野村様が竹を乙訓の地域資源として守ってこられてきた活動を知る機会となりました。そして、野村様が熱く語っておられる姿は拝聴しているメンバーが“竹を通じた地域愛”を感じるほど素晴らしいご講演でした。その後、乙訓工房・乙訓味覚と題し、メンバー一人ひとりに配布された竹ストローを製作し、たけのこの佃煮の試食を行いました。



五月例会を通して、乙訓地域の様々な魅力に触れることで、乙訓をより身近に感じる機会となりました。乙訓地域には様々な歴史ある名所があり、地域経済を活性化することができるたくさんの地域資源があります。今後もメンバー一人ひとりが乙訓地域への知識を深め、関心をもち、地域を愛しまちづくりの輪を広げていきたいと思います。

次回例会案内

【六月例会】（オープン例会）

六月例会では、子供たちの思いやりの心や自制心、規範意識の向上を図るために、まずは手本となるべき大人たちに道徳心を養う必要性を認識していただく目的で開催致します。

講師には、長年に渡り道徳の研究をされ、複数の大学で道徳について教鞭を振るっておられる西村日出男氏をお招きし、道徳とはどのようなものなのか、自分自身に対する道徳、他者に対する道徳についてお話いただき、最後に子供の育成には地域の大人の関わりが重要であることをお話いただきます。

大人が率先して道徳心の向上に取り組み行動する姿を見せることで、子供に道徳心を養う大切さを理解してもらうとともに、子供たちを導く人財に成長していただきたいと考えています。子供たちの手本となる“大人の在り方”を考える機会となりますので、ぜひご覧ください。

【開催方法】
ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル
「乙訓ＪＣチャンネル」にてライブ配信

【日　時】
二〇二〇年 六月十一日（木）
十九時～二十時二十分
（配信開始十九時）

【担当委員会】青少年育成委員会

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、
『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている
20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。
乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人との
ネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動
して頂ける方を随時募集しております。
ご興味ございます方は
公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）
までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名
正会員数　49名
（2020年 5月28日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

乙訓文化少年団

乙訓文化少年団五月事業は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の延長や小学校の休校延長があり、子供たちを集めて開催することができなくなりました。乙訓文化少年団を担当する青少年育成委員会として、「このような時だからこそ」子供たちのために「何ができるのか」を考え話し合いました。

そして、集まっての事業ができない代わりに、各家庭において子供たちから「お母さんに感謝を伝える」ことをテーマとし、母の日のプレゼント工作キットを送付しました。工作キットは低学年用、高学年用の二種類を用意しました。それは今年の乙訓文化少年団の方針の一つに「少し困難な作業でも仲間や大人の協力を得て取り組む」ことがあり、団員の子供たちがそれぞれの年代において「少し困難な作業」に対し、ご兄弟やご両親と一緒に取り組み完成した達成感を味わって頂きたいという想いが込められています。

また、団員の子供たちやご両親と会うことが難しいなかでも、ＹｏｕＴｕｂｅの「乙訓ＪＣチャンネル」を利用し、少しでも親近感を持ってもらえるように団長挨拶とリーダー挨拶を配信しました。動画配信は今後も続けていく予定をしております。

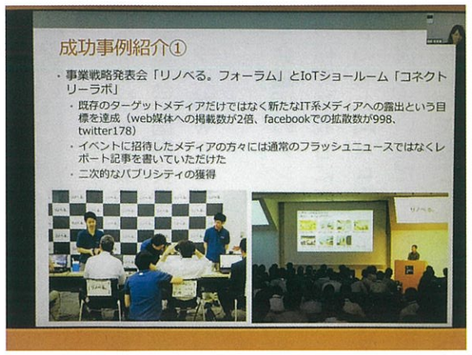
予断を許さない状況ではありますが、子供たちの心が「前向き」でいられるように、我々大人が「前向き」な姿勢を見せ続けていけるようこれからも頑張ってまいります。

京都ブロック協議会
広報戦略アップデートセミナー

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 ＪＣムーブメント創造委員会による広報戦略「アップデート」セミナーが、三部構成にわたりＷＥＢにて開催されました。

第一回は四月二十五日（土）に開催され、講師にはこれまで様々な企業で広報に携わり、現在、リスト株式会社 社長室次長を務めておられます田尻有賀里様をお招きしました。ビジネスの最前線で活躍する広報のプロとして、「広報を理解する」をテーマにご講演いただきました。

まず、広報とは組織とそれを取り巻くステークホルダー（組織に関わる人）との間に信頼関係を作り、認知度の向上や企業（ブランド）の価値を上げる活動であること。また田尻様のこれまでのご経験から「何のために広報活動をするのか」広報の目的を設定し社内でコミュニケーションを取り多くの情報をアウトプットすることで、広報の質を上げることも重要であることを学びました。

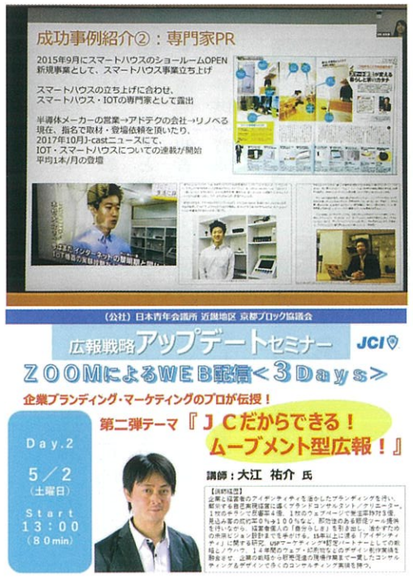


広報は地道なことが多いですが、ステークホルダーと関係構築を行い、何を伝えたいのかを明確に発信するという広報の本質を改めて考える機会となりました。

第二回は五月二日（土）に開催され株式会社アイデンティティブランディングの企業ブランディングやマーケティングコンサルタントを務めておられます大江祐介様をお招きし、「広報戦略のフレームを理解する」をテーマにご講演いただきました。

ステークホルダーの共感を得るために、人間性・社会性・科学性の三方向からの広報戦略を教えていただきました。社会的価値や発信者の信用性など、気を付けるポイントを踏まえたうえで、広報を行う重要性を学びました。

そして、ＪＣだからこそ実現できる「ムーブメントを巻き起こす」実践的広報について、第一回のセミナーを基礎とし、より深く広報戦略の考え方を学ぶ機会となりました。



第三回は五月九日（土）に開催され、第一回の講師である田尻様と第二回の講師であり、「明日からスグ実践できるデート術」をテーマにご講演いただきました。

府内各地青年会議所の前年度の事業広報事例をピックアップし、具体的な広報手法について学びました。

共感を意識したキャッチコピーや事業をはじめようと思ったきっかけや想いを伝えることで記事に人間味が出てくるなど、読んでもらう人がイメージを膨らませやすいように作成することが共感を得るポイントであると教えていただきました。

全三回のセミナーを通して、改めて広報とは自分たちのやろうとしていることを伝えるだけでなく、受けての目線に立ち、人を想う発信こそが共感を生み、ムーブメントに繋がると感じました。

乙訓青年会議所からは、冨田副委員長、岡田委員、田中（炳）委員、河地委員が出向されています。

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

JCI

2020年5月号

CONTENTS

◆今、私たちにできること
◆4月100%出席例会
◆乙訓JC説明会
◆乙訓文化少年団
◆京都ブロック協議会活動
◆地域諸団体紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

像について複数のグループに分かれてグループワークを行うなど、WEB上でもスムーズに進行できるよう委員会メンバーが協力し合い、無事開催することができました。

第一部は「新時代のリーダーセミナー」として、なぜ新時代のリーダー像が求められるのかを支援型リーダーシップのスキルと有能性について担当委員会メンバーが発表を行い、その後に京都ブロック協議会 櫛田会長から「新時代のリーダーについて」をテーマにご講演頂きました。

第二部のグループワークでは、「支援型リーダーシップについて」「トップダウン型リーダーシップについて」「新時代に求められるリーダーシップについて」の三つのテーマで話し合いを行って頂き、最後に各グループで出た多くの意見を確認し、共有する場となりました。

また今回のグループワークで出た意見を踏まえ、今後開催する事業に繋げていく計画となっています。

乙訓青年会議所からは小西副会長、中野副委員長、河合委員、田村委員、菜島委員が出向されています。

地域諸団体紹介【NPO法人 Life is Beautiful】

「NPO法人 Life is Beautiful」さまは、長岡京市を中心に傷病や障がいをもつ方やそのケアをする方、健康に興味をもっている方に対して、傷病や障がいの適切な予防、治療、介護などに関する相談支援及び保健事業並びに教育事業を行い、すべての人びとが健やかに暮らせる地域づくりをされています。

理事長の山下和典様は、『全ての人が疾患や障がいにとらわれることなく、より豊かに「生きる、活きる、居きる、逝きる」ことができる明るい社会を実現したい』とおっしゃられていました。

そのなかで「活きる」ための事業として、地域の高齢者の方に認知機能の低下があってもできる仕事や役割をもってもらい、活き活きとした生活を送ってもらうお手伝いをされています。

具体的には地域のデイサービス「NPO法人おはなさまとコラボし、利用者さんにユニフォーム作成を依頼してそれを買い取るという事業を開始されています。今では一〇〇歳の方の水墨画や九五歳の方の書道がユニフォームのデザインとなっています。

また、そのユニフォームを作ることがひとつの喜びになり、みなさん活き活きとされているそうです。

他にもたくさんの事業を行っていらっしゃいますので、ご興味のある方はFacebookページなどを是非ご覧になってみてください。

次回例会案内

【5月例会】(対内事業)

5月例会では、「乙訓地域の魅力や課題に関心をもつとともに、地域の人びとにまちづくりの主体者意識を波及できる人財となること」を目的として開催致します。

第1部の委員会発表では、「乙訓塾」と題し、乙訓地域の概要、魅力、課題について比較やクイズを交えて理解を深めて頂きます。

第2部では「竹を愛し、乙訓を愛す」をテーマとして野村秀明様のご講演をはじめ、様々な形で乙訓の代表的な魅力である竹に触れて頂くことで、乙訓をより身近に感じて頂ける内容となっております。

【開催方法】WEB例会

【日　時】5月14日（木）
18：30～20：30（登録開始18：15）

【担当委員会】地域未来創造委員会

新入会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。

乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。

ご興味ございます方は

公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）

までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名

正会員数　49名

（2020年4月23日現在）

今、私たちにできる新型コロナウイルスへの対応とは？

新型コロナウイルスの感染拡大により、四月七日に東京都を始め七つの都府県を対象とした緊急事態宣言が行われました。さらに四月十六日には、その範囲を拡大し全都道府県が対象とされました。そして、これまでの宣言対象地域に「北海道、茨城県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府」を加えた十三の都道府県について、特に重点的に感染拡大防止の取り組みを進めていく必要がある「特定警戒都道府県」として位置付けが行われました。それに伴い、全国的に自粛要請が出されるなか、乙訓地域の企業でも、社員のマスクの着用、アルコール消毒、毎日の検温など感染症予防の徹底に加え、時間差出勤、遮断シートを使用するなど、三密を防ぐ方法を考え、できる限りの感染予防対策を実施しています。また、それぞれの業種で新型コロナウイルス対策として企業努力をしている会社も多くあります。よく知られているのは飲食業によるデリバリー、テイクアウトシステムの構築です。三密を避けるために不要な外出を自粛している方々に向け、自宅でもお店の味を楽しんでもらえるようにと各店で様々な工夫を凝らした弁当やテイクアウトメニューを考案されています。飲食業だけではなく、他の企業もこの状況に柔軟に対応しようとしています。しかし、売り上げの減少や、休業を余儀なくされている企業があることも現状です。そうしたなか、様々な新型コロナウイルスに対する支援が実施されています。一例として挙げているので参考にして頂ければと思います。

今、私たち一人ひとりができることは何か。感染拡大を未然に防ぐ対策以外にもできることはないか。その一つに献血があります。日本赤十字社によると「献血イベントの自粛や中止により、献血協力者の深刻な減少が続いています。輸血用血液の在庫量が不足し始めている地域が発生し、全国的にこの状況で推移すると、必要な輸血用血液の供給に支障が出てまいります。」とあります。新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活に大変大きな影を落としています。しかし、そのなかであっても、周りを見渡す余裕をもち、前向きな気持ちを忘れず、自分にできることを考えて行動する機会にして頂ければと思います。

献血について、詳しくは日本赤十字社のホームページを見て頂ければ幸いです。

生活困窮者及び企業支援の主なもの（詳細は市・経産省・厚労省・社協等のホームページをご覧下さい）

対象	名称	支援概要（詳細は窓口でご確認下さい）	窓口
個人向け	緊急小口資金（貸付）	上限10万円（学校等休業の特例20万円） 据置1年・償還2年以内・無利子	各地域の相談窓口にて
個人向け	総合支援資金（貸付）	上限2人以上月20万円（単身月15万円・原則3ヶ月以内） 据置1年・償還10年以内・無利子	各地域の相談窓口にて
個人向け	住居確保給付金（給付）	就職活動を支えるため家賃相当額を有期で給付 収入・資産の審査あり	各地域の相談窓口にて
企業向け（個人のための）	雇用調整助成金（コロナ特例）	休業等助成金1人1日8,330円上限　下記は助成率 大企業（解雇しない場合）2/3（3/4）・中小4/5（9/10）	ハローワーク
企業向け（個人のための）	小学校休業等対応助成金（労働者雇用）	小学校休校で労働者に有給休暇 賃金相当額×10/10助成　申請期間6/30まで	学校等休業助成金・支援金等相談センター 0120－60－3999
企業向け（個人のための）	小学校休業等対応助成金（フリーランス）	小学校休校で休業したフリーランス 1日当たり4,100円（定額）　申請期間6/30まで	学校等休業助成金・支援金等相談センター 0120－60－3999
企業向け	無利子・無担保融資	コロナの影響で前年比5%以上の売上減少 据置期間最長５年	日本政策金融公庫
企業向け	セーフティネット保証４号・５号	【4号】100%保証。前年比20%以上売上減少 【5号】80%保証。前年比5%売上減少	市・商工観光課（認定） 銀行・信金等（相談）
企業向け	マル経融資の金利引下げ	前年比5%以上売上減少。融資限度額：別枠1,000万円 金利：0.9%分を当初3年間特別利率から引下げ	日本政策金融公庫

休業で生計にお困りの方
休業で生計にお困りの方
離職等で住宅を失うかも
従業員に休業してもらう
子どもがいる従業員には
子どもがいるフリーランス
資金繰りに困った（無利子）
資金繰りに困った企業
資金繰りに困った企業

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

四月一〇〇％出席例会

二〇二〇年四月九日（木）に、公益社団法人乙訓青年会議所四月一〇〇％出席例会が、共感創造委員会の設営のもと行われました。今回の四月一〇〇％出席例会では、これまで地域の発展に寄与し運動や活動を発信してきた乙訓青年会議所が、さらに地域で必要な組織として存在価値を高めるために、メンバー全員が創立の想いや運動の本質を再認識することを目的とし開催致しました。委員会発表では共感創造委員会より今年度の各委員会の役割から、運動の本質を再認識して頂き、その後の理事長講話では、乙訓青年会議所の歴史を振り返り乙訓青年会議所の地域における影響やメンバー一人ひとりの在り方などをお話し頂きました。

また新しい試みとして、ＷＥＢ上にて例会を開催させて頂きました。新型コロナウイルスの影響により乙訓青年会議所として初の試みとなりましたが、限られた状況のなかでも今できる例会開催の手法として採用させて頂きました。今回の手法がさらにより良い方法となるよう議論を重ね、今後どんな困難な状況にあっても活動できるよう乙訓青年会議所として準備していきたいと思います。

乙訓ＪＣ説明会

乙訓ＪＣ説明会は会員数拡大を目的とした事業であり、年間十回開催を予定しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響から、五月八日（金）の乙訓ＪＣ説明会は中止となりました。調整してくださった方には、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

本年度、乙訓青年会議所の期首会員数は四十七名に対して拡大目標は三十名と高い目標を掲げました。乙訓ＪＣ説明会では、「そもそも青年会議所（ＪＣ）とは何か」「乙訓青年会議所がどのような組織なのか」「乙訓青年会議所の具体的な活動内容」を紹介していきます。青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」の理念のもと、「自己修練・社会奉仕・友情」の三信条を掲げ、地域をより良くするために活動をしている団体です。二十歳から四十歳までの青年経済人の集まりで、主な活動場所は乙訓地域（長岡京市・向日市・大山崎町）です。具体的な活動内容としては、乙訓青年会議所メンバーの資質向上のための研修会や一般来場者も交えた講演会など月一回の例会を開催、また乙訓ＤＲＥＡＭフェスタ、乙訓文化少年団や公開討論会など、様々な事業も行っています。ご興味ある方は魅力拡大委員会 委員長 佐々木彰吾（〇九〇－八二三〇－四四六六）までご連絡ください。

（写真は２月３日開催時のものになります。）

乙訓文化少年団活動テーマ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、オリンピックや各種イベントが中止や延期となり、学校までもが五月六日まで休校となりました。そして、楽しみにして頂いている「乙訓文化少年団事業」も四月の活動を中止とさせて頂きました。私たち青少年育成委員会では、年当初から乙訓文化少年団団員の募集や一年間の活動計画を練ってまいりました。しかし、状況が日々深刻化していくなかで、五月以降の活動も子供たちが集まるような事業を当面は自粛させて頂きます。このような状況のなか当初の予定通り活動できず、紹介の機会がありませんので、本年度の乙訓文化少年団活動テーマについてご紹介をさせていただきます。

本年度の乙訓文化少年団は、子供たちと共に多くの「つながり」を意識した事業を開催し、共に成長することを目的に「自己肯定感」も向上させられる活動をしてまいります。日本人は歴史的に謙虚であることを良しとする文化をもっていることから「自己肯定感」が低い傾向にあり、日本の子供も他国の子供と比べ、「自己肯定感」が低いというデータがあります。「自己肯定感」が向上すれば自主性が高まり、新しい挑戦に対して様々なリスクを引き受けられる強い意志や意欲を持って自身の信念に基づいた行動がとれるようになります。このような人間こそ、自らの手で次代を切り拓き、より良い未来を、そして明るい乙訓（まち）を創造できる人材なのだと考えています。

また、このような状況でも子供たちに何かできることがあるはずと思い、乙訓文化少年団では、子供たちに学びと楽しさを届けるために「工作キット」の配布や「動画配信」など、趣向を凝らした新たな試みに挑戦したいと思います。皆様におかれましては、大変な状況下であるとは思いますが、子供たちに笑顔を届ける乙訓文化少年団のこれからの活動にご理解の程よろしくお願い致します。

京都ブロック協議会 オンラインサロン

三月末から公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 ＪＣムーブメント創造委員会が主催するオンラインサロンが行われました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、我々青年会議所においても事業や会議の中止や延期など多大な影響を受けています。多くの青年会議所メンバーは思うように活動ができず、メンバーのモチベーションが上がらない、交流が深まらないと感じているのではないでしょうか。しかし、このような状況だからこそポジティブな思考で、より明るい社会へと力強く牽引していくために、新型コロナウイルスが入り込まないネット空間を利用して、楽しく、熱く、青年会議所としての学びを得られる場としてオンラインサロンを始めることとなりました。

四月二十三日現在、京都ブロック協議会二〇二〇年度ＪＣムーブメント創造委員会のＹｏｕｔｕｂｅチャンネルにて、「リーダーとしての決断力」「ＪＣで得られる能力とは」「デザイン思考でイノベーションを創出する！」の三つの動画がアップされています。そのなかには、京都ブロック協議会 櫛田会長のご講演も収録されています。京都ブロック協議会は「今だからこそ私たちができること」に取り組んでいきますので、是非ご覧ください！

乙訓青年会議所からは、冨田副委員長、岡田委員、田中（炳）委員、河地委員が出向されています。

京都ブロック協議会 新時代のリーダーあり方検討会

四月七日（火）、公益社団法人 日本青年会議所近畿地区 京都ブロック協議会 新時代のリーダー育成委員会のオープン委員会がＷＥＢ上で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、急遽ＷＥＢ開催に変更となりましたが、新時代のリーダー

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

JCI

2020年4月号

CONTENTS

◆理事長メッセージ
◆特別企画～副委員長対談～
◆文化少年団募集
◆地域イベント紹介
◆新入会員募集
◆次回例会案内

理事長メッセージ
～前向きな「気持ち」をワクチンに～

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止により、生活や仕事に様々な影響があるなか日々を送られていることと存じます。

乙訓青年会議所においても、２月２７日政府からの「２週間の事業中止、延期または規模の縮小などの対応を取るよう要請」や「全国すべての公立小中高等学校の休校要請」、また３月１０日に「これまでの拡大防止の取り組みを、１０日程度の期間継続する要請」を踏まえ、長年にわたり欠かすことなく開催してまいりました毎月の定例会を中止させて頂きました。そして、東京オリンピックの１年程度延期の決定や都道府県の週末外出自粛要請など、かつて経験したことのないようなニュースが流れ、私たちの生活や経済が今後どうなるのか不透明な状況で、「不安」という気持ちに苛まれている人は多いのではないでしょうか。

今回の新型コロナウイルスは、身体的な影響はもちろんのこと、私たちの「考え」や「気持ち」にも大きな影響を与えています。身体的な影響に万全の対策を行うことはもちろんですが、今、私たちに必要なのは「考え」や「気持ち」を前向きにセットし、この状況下で何ができるかを考えて行動することではないでしょうか。

乙訓青年会議所は４月も様々な事業が控えております。そのどれもが、この乙訓地域をより良くしたいという考えのもと構築された事業です。私たちは、今のこの状況を「悲観」しません。「乙訓地域をより良くしよう」という根っこの部分を忘れることなく、新たなことにチャレンジできる好機と捉え、出来る限りの行動を続けてまいります。地域の皆様や私たちの前向きな「気持ち」や「考え」が、今回の新型コロナウイルスによる生活や経済への影響に対する「ワクチン」となり得ると考えています。乙訓管内でも５例の感染（３月２７日時点）がある中ではございますが、引き続き冷静に府や市町村の発表する予防策をしっかりと講じ、一人ひとりが「できること」に取り組み、乙訓地域やそれぞれの生活に明るい兆しが見えますことと、新型コロナウイルス蔓延の一日も早い終息を願っております。

公益社団法人乙訓青年会議所
理事長　達城　英治

乙訓文化少年団 団員募集案内

乙訓青年会議所では、毎年未来を担う子供たち（小学一年生～六年生）を対象にしました「乙訓文化少年団事業」を行っています。

本年度、子供たちには、仲間とともに様々な体験学習やキャンプなどの事業を通して、人を思いやる心や積極的にチャレンジする心を育みます。子供たちにとって楽しく成長して頂ける事業内容となっていますので、ご興味ございます方は【公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）】までお問い合わせください。

地域イベント紹介①
【桂川流域クリーン大作戦】

「桂川流域クリーン大作戦」は、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所の支援を受けてスタートし、毎年三月に桂川流域の清掃を行っています。年々活動の輪が広がっており、昨年は二百団体を超え、乙訓青年会議所も清掃活動に参加しており、約三千人の参加者による清掃活動が行われました。桂川の四季折々に咲く草花や野鳥の憩う姿は、私たちにこの上ない心の安らぎを与え、豊かな感性を育む場所となっています。

そんな素晴らしい桂川を清掃することにより美化意識を高め、マナーの向上を図ることを目的とされ、本事業の他にも一年間を通じて、ゴミを捨てない「ゴミ持ち帰り運動」などの環境問題に取り組む活動を展開されています。

地域イベント紹介②
【ながおかきょう福祉まつり】

長岡京市社会福祉協議会が主催する「ながおかきょう福祉まつり」は、ボランティア活動を身近に感じてもらう趣旨のもと毎年三月に開催されており、例年、地域福祉活動に携わる団体やグループ、福祉施設により、飲食・ボランティア体験コーナー・バザーなど様々なブースが設置されます。本事業の特徴であるボランティア体験コーナーでは、障害がある方にどう声をかければ良いか、どう手引きをすれば良いのかを体験でき、福祉に関する活動を幅広い世代の方が遊んで学べる機会となっています。

乙訓青年会議所もブースを設け、活動紹介や会員募集を行い、交流を図っています。しかし、今年も開催される予定だった「第六回ながおかきょう福祉まつり」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

来年、開催がありましたら、ぜひご参加お待ちしております。

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、
『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている
20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。
乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。
ご興味ございます方は
公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）
までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　3名
正会員数　50名
（2020年 3月26日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

特別企画 副委員長対談

対談者

人財育成委員会
（メンバーと地域の方々の資質向上を考える委員会）
副委員長　河合　良忠（以下　河合）

共感創造委員会
（地域にＪＣの情報発信を行う委員会）
副委員長　谷　政憲（以下　谷）

信頼構築委員会
（メンバー同士の絆を深める委員会）
副委員長　高橋　英樹（以下　高橋）

総務財政委員会
（組織運営を担う委員会）
副委員長　松宮　一貴（以下　松宮）

地域未来創造委員会
（地域のまちづくりを行う委員会）
副委員長　中野　翔太（以下　中野）

青少年育成委員会
（子供に学びを提供する委員会）
副委員長　田村　直毅（以下　田村）

魅力拡大委員会
（メンバーの拡大を図る委員会）
副委員長　西條　利洋（以下　西條）

今回、新型コロナウイルスの影響でＪＣ活動を自粛するなか、副委員長同士で委員会活動を報告し合うことで情報を共有するとともに絆を深め、今後のＪＣ活動を有意義にするために開催しました。

※ただし、この副委員長対談は三月に行っているため、新聞発行時には新聞内で対談している事業開催の有無が確定している場合があることをご了承下さい。

この三ヶ月を振り返って

（谷）それでは、これより副委員長対談を行いたいと思います。皆様、よろしくお願い致します。

（一同）よろしくお願い致します。

（谷）青年会議所活動は単年度制となっており、二〇二〇年一月から副委員長として新たに就任され、三ヶ月が経ちましたが、振り返ってみていかがですか。

（高橋）信頼構築委員会は一月例会・新春交歓会を担当させて頂きました。準備の関係上、十二月の就任前の段階から忙しかったですが、新年最初の例会で乙訓青年会議所の二〇二〇年度の船出を成功裏に終えることができました。委員会が一つにまとまり、とてもやりがいを感じました。そして、最近では亀岡青年会議所・船井青年会議所と合同で行う交流事業が新型コロナウイルスの影響で開催延期となりました。

（中野）地域未来創造委員会も三月一日に参加を予定していた「桂川流域クリーン大作戦」、「ながおかきよう福祉まつり」が中止となり、毎年参加していただけに残念です。現在は、五月例会に向けた準備をしています。準備段階でも委員会での集まりなど、人に会うときは新型コロナウイルスを考慮した動きが必要になり、気を使うことが多く、大変苦労しています。

（西條）魅力拡大委員会も、三月二日に開催を予定していました乙訓ＪＣ説明会が中止となり、入会候補者を探して頂いたメンバーにはご迷惑をお掛けしました。私たちの委員会は、どうしても候補者となる方とお会いしお話しすることになるので、細心の注意を払いながら活動しています。

委員会の動き

（谷）次に、活動の難しい時期ですが所属委員会の動きはどうでしょうか。

（松宮）総務財政委員会は、議案書（ＪＣにおける事業の計画書や報告書）のチェックや正副理事長会議、理事会などの諸会議が開催されれば設えをすることになりますので、委員会活動自体はあります。最近の新型コロナウイルスの状況下でも会議が開けるようにＷＥＢ会議の設営を行うなど新たな取り組みも行っています。大変ではありますが、様々な状況に自分たちで考え対応してくことが重要だと思います。

（河合）人財育成委員会は、三月例会の担当でしたが、例にもれず新型コロナウイルスの影響で中止となりました。本来であれば忙しくもなりますが委員会の醍醐味でもある例会準備がなくなり、委員会活動も自粛となり非常に残念ではあります。しかし、委員会メンバーの集まりは難しいですが、次回担当の七月例会に向けてスタッフ同士の連絡は密にして準備を進めています。

（田村）青少年育成委員会は、四月の第一日曜日より毎月一回の乙訓文化少年団を開催する予定となっています。四月の第一回乙訓文化少年団は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、開催がどうなるか分かりませんが、そのための段取りなどを話し合うなど確認作業を進めています。

副委員長の働き

（谷）では、副委員長としての役割はどうですか。

（中野）やはり、まずは委員長と連絡を密にして、スケジュールの確認や各期日の確認、メンバーの状況確認などを行っています。もちろん、メンバーの動員に関しては幹事の役割ですが、メンバーの状況を共有するために、幹事とも連絡を取って動いています。まさに委員長と幹事のパイプ役として動いています。

（河合）三月例会が中止ということもあり、副委員長としての役職を実感できる機会が少なく、どのような動き、振舞いをすれば良いのかが分かりません。イメージとして委員長のサポートをするというのは分かりますが、実際にできるのかどうか不安なところはあります。しかし、今回皆様の話を聞いてどのようにすれば良いのか、いろいろ知るきっかけとなったので頑張っていきたいと思います。

（高橋）私たちの担当した一月例会では、私自身が忙しく動いていたこともあり、役割を実感する暇もなかったのですが、無事に終えられたことを考えれば、結果として来て頂いた方に対して良い働きができたのではないかと思っています。一つひとつの行いに対して成否を判断し、反省すべきところはするというけじめをつけ、十二月の卒業式・忘年会の設えに活かしたいと思います。

（西條）今回、私は議案作成などの作業に参加させてもらう機会が多く、大変勉強になっています。また自分だけではなく、メンバー全員が成長できるように議案作成から一緒に考え作業することも必要なのではないかと考えています。

（松宮）私は副委員長であると同時に財務局長でもあるので、総務財政委員会委員長を支えつつ、財務局長として財務面の管理と会の運営がスムーズに進行できるようにするための役割を考えています。しかし、大変苦手な分野でもあり、周りに迷惑を掛けているのではないかと心配しています。だからこそ、会のため、そして委員長のために、一つひとつを懸命に取り組んでいます。

（田村）やはり中野副委員長が話されていたように、副委員長は、委員会のブレインである委員長と、委員会メンバーと密に接する幹事との間を取りもつのが最大の役割だと思います。副委員長として、担当する六月オープン例会では委員長の想いが伝わってくる内容となっているので、なんとしても成功できるように支えていきたいです。

（谷）私も副委員長の役割を自分なりに考えてみましたが、やはりどこまでいっても委員長のやりたいことを理解して一緒に作業を行うことが重要なのだと思います。委員長の想いと共通の認識をもっていれば、委員長の負担を少しでも減らすことができ、委員長に様々なことを考えて頂くきっかけとなるように頑張ります。

（西條）委員会メンバーの参加率が良く、順調なスタートが切れたと思います。新入会員を増やす事が目的の委員会となるので、委員会内で盛り上がるだけでなく、対外のイベントに参加し、新入会員を一人でも増やしていきたいと考えています。

（田村）先の見通しが立たない不安な状況ではありますが、その状況下でも出来ることをしっかりと把握して委員長の支えになりたいと思います。そのためにも、委員長の想いをしっかりと汲み取れるように普段から関係を密にできるよう頑張りたいと思います。

（中野）スケジュールを把握し委員長をサポートするとともに、委員会で活動するときにはメンバー全員が楽しめるよう役割を全うしていきます。メンバー数が少ないことも考えると他の委員会とも連携を取っていきます。まずは五月例会が目前に迫っているので、委員会一丸となって頑張っていきたいと思います。

（松宮）今年の総務財政委員会は四名と少人数ではありますが、それぞれ異なるタイプのメンバーが集まっており、楽しみながら活動できています。他の委員会の議案をチェックし、より良い例会になるようアドバイスしていければと考えています。そのためにも、早く副委員長として一人前になり、委員長を支えられるように成長していきたいと思います。

（谷）本日は皆様、ありがとうございました。

（一同）ありがとうございました。

今後の意気込み

（谷）最後に今後の意気込みについてお願いします。

（高橋）副委員長として、最後まで委員長と二人三脚で進んでいけるように寄り添っていきたいと思います。

（谷）新聞作成作業など日々の作業が大変になりますが、新型コロナウイルスの状況下でも情報を発信し続け、しっかりと活動していることを内外にアピールできるよう頑張っていきたいと思います。

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

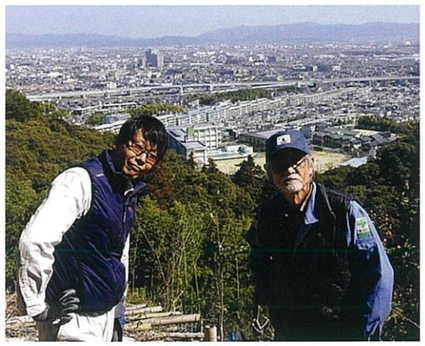
JCI

2020年3月号

CONTENTS

◆理事長企画　◆通常総会
◆会長公式訪問　◆2月例会報告
◆金沢会議　◆JC説明会
◆厄除け参り　◆青松会　月釜
◆乙訓メンバーの全力通信
◆文化少年団募集　◆地域団体紹介
◆新入会員募集　◆次回例会案内

理事長のやってみよう ～地域諸団体の魅力発信～



「久保川と天王山の森を守る会」

（達城理事長）本日は「久保川と天王山の森を守る会」代表の竹内硯さまと対談をさせて頂きます。よろしくお願い致します。早速ですが、「久保川と天王山の森を守る会」について教えて頂けますか。

（竹内さま）当会では、久保川と天王山の自然を守るために活動をし、久保川では希少種のカリガネソウ植生地の整備、保全のため清掃活動などをしています。また、天王山では孟宗竹の放置による自然環境の崩壊を防ぐために伐採をし、木々を植える活動をしています。今回は、私が山の担当でもあるので、天王山での活動を中心にお話します。

（達城理事長）ありがとうございます。では、主な活動内容をお聞かせいただいてもよろしいでしょうか。

（竹内さま）はい。現在活動している山は、小倉神社の鎮守の森の隣にあり、広さは約二、八haになります。もともとは調子八角近くの集落の方々が所有をされており、業者へ売却されたものを個人が買い戻したものになります。個人では管理が難しい広さになるので、長らく放置されていました。現在では、平成十七年に設立された「天王山周辺山林整備推進協議会」で策定された基本構想に基づき整備を進めています。主な活動としては、まず竹林の整備、朽ちた竹の伐採。植樹をするための斜面の整備。斜面によっては斜度三十度にもなるため、平地や階段の整備をしたりもします。

次に、植物が成長することも考慮に入れ、植樹の場所を考えて植えていきます。また、人里に近いのですが、シカなどの野生動物もよく出没するため、害獣被害を防ぐために防護ネットを木に巻くなどして対策をします。こうして少しずつ整備をし、木々を増やしています。

（達城理事長）ありがとうございます。では、植樹のための苗木の入手などはどのようにされていますか。

（竹内さま）植樹のための苗木は、京都府による「京の森林文化を守り育てる支援事業」からの補助や近隣にある企業からの寄付などで入手しています。自然保護に力を入れている企業によっては、百四十本もの苗木を植えてもらったりもしています。また、活動資金は京都府より横断幕の作成を補助してもらい、横断幕に地元企業を中心に名前を入れてもらうなどして工面しています。そして、大規模な植樹活動や寄付による植樹を検討させて頂きます。最後にこの活動に込める想いをお聞かせください。

（竹内さま）この植樹という活動はすぐに成果の出るものでもなく、早くとも五年、森として成長するには三十年後という先の長い話になります。しかし、かたちあるものを遺産として残すことで、このまちのシンボルになると思えば、ひとつの達成感を得られるものになると考えています。また、竹林を伐採すると、日が当たるようになり自然と新たな植物が生えたり、オオルリが飛来したり、アサギマダラが戻ってくるようになるなど、生物の形態にも影響が出始めています。このような、まちを変える、まちのために活動する方法があることも知ってもらえれば、今後一緒に協力して活動していけると思いますので、よろしくお願いします。

（達城理事長）こちらこそ、是非ともよろしくお願い致します。本日は、ありがとうございました。

（理事長からの一言）

対談後、竹内さまのこれまでの活動資料などを拝見し、お話を聞かせて頂くと、竹内さまの気持ちや熱量を感じることができました。また、竹内さまの様々な趣味の話なども聞かせて頂くと大変エネルギッシュな方なのだと思いました。我々も仕事や趣味などに向ける気持ちと同じように、この乙訓（まち）のために全力を出していきましょう。

「理事長のやってみよう」
動画はこちら→

乙訓文化少年団 団員募集案内

乙訓青年会議所では、毎年未来を担う子供たち（小学一年生～六年生）を対象にしました「乙訓文化少年団事業」を行っています。

本年度、子供たちには、仲間とともに様々な体験学習やキャンプなどの事業を通して、人を思いやる心や積極的にチャレンジする心を育みます。子供たちにとって楽しく成長して頂ける事業内容となっていますので、ご興味ございます方は【公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）】までお問い合わせください。

地域団体紹介①【NPO長岡京市ふるさとガイドの会】

長岡京市で活動されている「NPO長岡京市ふるさとガイドの会」さんは、「ボランティアガイド」として、一般市民はもとより長岡京市を訪れる観光客の方々に対してガイドを行い、長岡京市の歴史を伝えておられます。また、子供たちには自分たちの暮らすまちに愛着と誇りをもってもらいたいという想いから、長岡京市の各小学校で授業の一環としてふるさとの紹介をしておられます。

そして、「こども民話大会」と題した長岡京市の昔話の読み聞かせを、スライドを使って行い地域に伝わるお話を広める活動もされておられます。一九九七年から今年で二十三年を迎え、長岡京市ふるさとガイドの会に携わってこられた方々が築かれた歴史と信頼のもと、行政と協力しながら長岡京市のみならず、向日市・大山崎町と協力しながら「長岡京」という都を、ひいては乙訓地域を盛り上げるために活動しておられます。地域のイベントにも参加・協力をしておられますので、ご興味のある方は

「〇五〇―一〇八二―二六三六」

まで是非ご連絡ください。

地域団体紹介②【大山崎エゴマ油復活プロジェクト】

大山崎町は油のまちとして歴史は長く、平安時代より「エゴマ油」発祥の地として、油の製造と販売の中心「油座」として栄えていました。そんな大山崎町にて発足された「大山崎えごまクラブ」さんは、エゴマに関わる文化を現在に活かして地域活性化をめざして活動をされています。創建一一六〇周年を迎えられ、油の神様として親しまれている「離宮八幡宮」が考案し、当時使われていた油を搾る機械（搾油機）を実物の半分のサイズで再現。昔ながらの方法でエゴマ油を抽出する体験教室や定期的にエゴマフェスタを開催されています。また、大山崎小学校の四年生を対象に、エゴマを栽培から搾油までを行い、エゴマ油を使って料理を作る体験授業を、一年間かけて行っておられます。そして、搾油機「立木」の復元ワークショップなども開催し、子供たちに搾油体験を通して昔の人々の暮らしぶりを伝えるとともに、大山崎町の歴史を知って頂く機会を提供されています。

次回例会案内

【3月例会】（対内事業）

乙訓青年会議所では、様々な課題が溢れる乙訓（まち）でメンバー一人ひとりが周囲の人を協働に導く「人の心に影響を与える人財」へと成長する必要があると考え、そのために まずは人望を得る人物への成長に繋げることを目的とし３月例会を開催致します。慶昌院住職山路氏による講演と坐禅をし、何事においても自分事と捉え前向きに明るく活動する心を学び、当事者意識をもつことで、課題や物事に対して誠実な対応と責任感をもつ重要性を認識致します。

【開催場所】向日市寺戸町西野２　慶昌院

【日　時】３月１２日
１８：３０～２１：００（登録開始１８：００）

【担当委員会】人財育成委員会

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、
『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている
20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。
乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。
ご興味ございます方は
公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）
までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名
正会員数　49名
（2020年 2月27日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

通常総会

一月三十一日（金）長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一にて第一回通常総会が開催されました。

二〇一九年度の事業報告ならびに財務報告があり、また二〇二〇年度の収支予算が可決承認されました。

総決算を終えた二〇一九年度三浦理事長より、二〇二〇年度達城理事長へと無事に引き継がれました。

会長公式訪問

二〇二〇年度京都ブロック協議会スローガン「憧れを君に」長岡京市中央生涯学習センター六階創作室一にて、京都ブロック協議会会長公式訪問が行われました。京都ブロック協議会・櫛田会長より、「組織改革」をテーマにご講演頂き、二〇二〇年度京都ブロック協議会の方向性だけではなく今後どのような組織になっていくべきなのか、リーダーとはどういうものなのか、どうあるべきなのか、今後の青年会議所は時代にあわせてどう進化すべきなのかをお話し頂き、今後のJC活動への理解を深める機会となりました。その後懇親会を味楽園で開催し、委員会ごとに櫛田会長とお話しする機会を設け、各委員会が抱えている問題や、活動の方向性などをアドバイス頂き、交流を深めることで、京都ブロック協議会への活動意欲の向上に繋がりました。

二月例会報告

二〇二〇年二月十三日（木）長岡京市中央公民館にて、公益社団法人乙訓青年会議所二月例会が開催されました。二月例会は乙訓青年会議所の現状をメンバーに共有すると共に、新たな拡大手法を備えたうえで、メンバー一人ひとりが主体者意識をもった会員拡大を行って頂くことを目的として行われました。講師として、一般社団法人枚方青年会議所、第五十八代理事長であられる藤田伸行様にお越し頂きました。第一部では理事長と藤田様の対談として、「会員拡大成功のために～会員拡大成功のための理想の組織」～会員拡大の重要性を学び、組織一丸となって「全員全力」で行う気概の醸成につながりました。第二部では、藤田様と各委員長がパネルディスカッションを行い、委員会の可能性を話し合った後、各委員長より各会メンバーの拡大意識を高める内容となりました。講演を通じてメンバー全員が「全員全力」の気概をもって全員拡大活動の必要性を感じ、能動的な行動を起こす一助となったと実感しています。

乙訓JC説明会

二〇二〇年二月三日（月）ディスカバー長岡京のカフェ&バー「まちバルSUBACO」にて、乙訓JC説明会が行われました。乙訓JC説明会は会員数拡大を目的とした事業であり、年間十回開催を予定しています。本年度、乙訓青年会議所は、期首会員数の四十七名に対して、拡大目標三十名を掲げました。今年度の乙訓JC説明会では、説明のスライドを事業の魅力がより効果的に伝わるように工夫しました。また説明会と懇親会を同じ会場にすることで、説明会からスムーズに雰囲気も良く懇親会に移行することができました。懇親会中にもメンバーのフランクな写真を繰り返し流すことで事業だけでなくメンバーの意外な一面も感じて頂け、良い雰囲気作りに繋げるなど様々な工夫を凝らしました。参加者へ乙訓青年会議所について分かりやすく説明するのは勿論のこと、乙訓地域の魅力、乙訓青年会議所の事業の魅力、仲間の魅力をお伝えし、入会に繋げられるよう努めてまいります。

ご興味ある方は魅力拡大委員会　委員長　佐々木彰吾（〇九〇―八一三〇―四四六六）までご連絡ください。

また年間スケジュールは以下の通りになります。

〈乙訓JC説明会　年間スケジュール〉

三月二日、四月六日、五月八日、六月一日、七月六日、八月十日、九月七日、十月五日、十一月二日

金沢会議

二月二十一日（金）～二月二十三日（日）北國新聞赤羽ホールにてJCI金沢会議が開催されました。JCI金沢会議は、二〇一五年十一月に開催されたJCI（国際青年会議所）の世界会議・金沢大会の総会において、持続可能な開発目標「UN SDGs」を取り組むことを採択し、その達成と推進を目的とし開催されてきました。

二月二十二日（土）、金沢商工会議所会館にて、地域ビジョン確立委員会による「今日から使えるICT活用セミナー」が開催されました。ICTを導入し、個々の仕事の効率を高め労働生産性を向上させることで、企業の生産性の向上や労働環境改善に繋げることを目的とし、参加者にはセミナーの場で、チャット・データ共有・WEB会議ができるアプリ「Webex」を体験して頂きました。実際に「Webex」を体験することで、参加した皆様には、自社の業務改善や労働環境改善に対する意識の向上に繋がりました。

乙訓青年会議所からは岩本会計幹事が出向されています。

また同日、北國新聞赤羽ホールにて、SDGs推進会議によるファンクション「SDGs3．0～NO EARTH NO LIFE～」が開催されました。SDGsの推進から、より具体的な行動に移すことを目的とし、小泉進次郎環境大臣兼原子力防災担当大臣が、「環境先進都市・日本の復権～持続可能な社会への移行を進めよう～」について東京から生中継でご講演されました。

厄除け参り

一月二十九日（水）十五時より石清水八幡宮にて厄年参りを行いました。

厄年参りの対象者は昭和五十二年（御礼参り）、昭和五十三年（後厄参り）、和五十四年（本厄参り）昭和五十五年（前厄参り）生まれの方々です。

また、同日十八時三十分より「台所てんや」にて懇親会が開催され、沢山の方々が参加されました。

青松会月釜

二月九日（日）、西山浄土宗総本山・光明寺の境内にある蓮生閣にて、乙訓青年会議所茶道同好会である乙訓青松会が初めての月釜を担当させて頂きました。本年度、乙訓青松会は十五周年を迎えます。今回の月釜は、十五周年に向けての貴重な経験になったとともに、茶道の心構えを学ぶ機会となりました。

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

メンバープロフィール

名　前	金子 昇悟 【かねこ しょうご】
所属委員会	魅力拡大委員会
役　職	委員
入会年	２０２０年

全力で取り組んでいること

【その人の店を自分の会社に　置き換えて考えよう！】

お客様のお店を自分の会社ならどうしてほしいか、もし、自分の会社ならどう対応してもらえたら嬉しいかなど、すべてのことを自分に置き換えて考えることで、より丁寧に、より良い仕事ができると考えます。

共感創造委員会より一言

解体業をされている金子くん。
入会後すぐの担当例会でも目覚ましい活躍をしてくれました。
今後の乙訓青年会議所での活躍も期待しています！

金子委員の全力動画はこちら→

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

JCI

2020年2月号

CONTENTS

◆京都会議
◆1月例会・新春交歓会
◆地域団体紹介
【土のめぐみ】【フードバンク】
◆文化少年団募集案内
◆乙訓メンバーの全力通信

乙訓文化少年団 団員募集案内

乙訓青年会議所では、毎年未来を担う子供たち（小学一年生～六年生）を対象にしました「乙訓文化少年団事業」を行っています。

本年度、子供たちには、仲間とともに様々な体験学習やキャンプなどの事業を通して、人を思いやる心や積極的にチャレンジする心を育みます。

子供たちにとって楽しく成長して頂ける事業内容となっていますので、ご興味ございます方は【公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）】までお問い合わせください。

地域団体紹介①【土のめぐみ】

野菜作りに興味をもつ仲間が会を発足され、今年で六年を迎えられました。土と野菜づくりの会「土のめぐみ」の皆さんは、生ごみ対策として生ごみ堆肥を自作し、元気で安全な土作りを行うなど、失敗や成功体験を重ねてこられ、春夏秋冬の様々な野菜の収穫に確かな手応えを感じておられます。その成果を毎年の向日市まつりで展示されています。また、第六向陽小学校の農業体験や観察用の作物作りなどのボランティア活動をしておられます。昨年は、ミニ田んぼを児童たちと作り、旭米を収穫しました。向日市周辺にお住まいで、野菜作りにご興味のある方の入会をお待ちしています。

同会代表　谷本　於規光

〇七五―九二二―八三二〇

地域団体紹介②【フードバンク】

長岡京市で活動するフードバンク長岡京さんは、廃棄されてしまう食糧や、安全に食べられるが包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈してもらい、食を必要としている地域の施設や団体、困窮世帯に無償で提供しておられます。

『いただいた食の貴さ届けます。もったいないから、ありがとうへ』

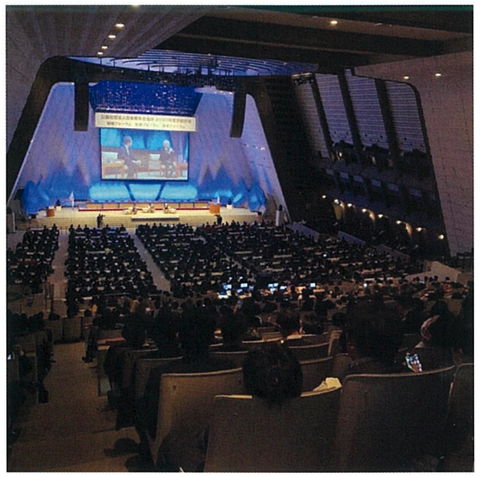
食品を提供して下さる方々への感謝の気持ちと、食品を必要としている方々から頂く感謝の気持ち。フードバンク長岡京さんは、食品だけでなく、心も一緒に届けておられます。

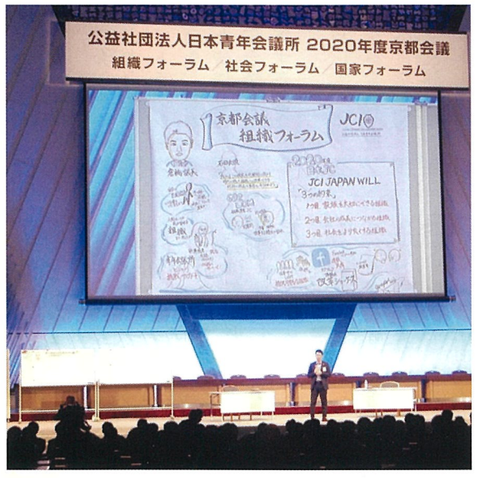
※受け取ることができない食品もございますので、詳しくは長岡京市ホームページをご覧下さい。

京都会議

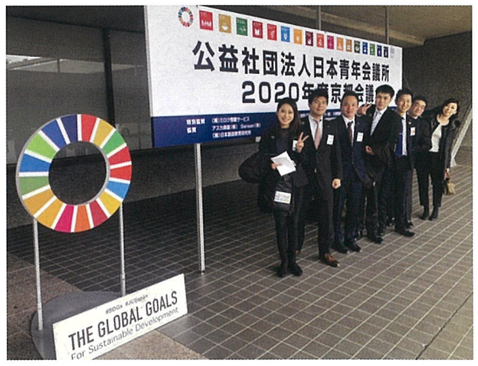
一月十七日（金）～一月十九日（日）国立京都国際会館にて、京都会議が開催されました。令和初となる二〇二〇年度京都会議は、二〇一九年度より日本青年会議所が推進してきたＳＤＧｓを「アップデート」させ、あらゆる分野に即した形でさらに推進していくため、社会フォーラム・国家フォーラム・国際フォーラムなどの各種フォーラムやセミナーが多く開催されました。乙訓青年会議所からも多くのメンバーが出向しており、出向先での活躍を順に紹介してまいります。

一月十七日（金）、地域ビジョン確立委員会の公開委員会では、働き方改革の機運が高まる現在において、ＩＣＴツールの利活用を推進することで、労働生産性を向上させます。テレビ会議・チャットツールである「Ｗｅｂｅｘ　ｔｅａｍｓ」を用いての活用事例紹介や委員会によるデモ体験が行われました。乙訓青年会議所から岩本会計幹事が出向されています。





同日開催された、ＳＤＧｓ推進会議の公開委員会では、議長挨拶、副議長による担当事業の説明がありました。「ＳＤＧｓログ」と題し、ＳＤＧｓの社会的価値を高め、企業が取り組む重要性や将来性を感じて頂き、さらなる認知・推進に繋げる運動を展開されます。また、翌十八日には、社会フォーラム「ＳＤＧｓ３．０」を開催し、なぜ個人や企業がＳＤＧｓを通して社会課題に取り組む必要があるのかを改めて問題提起することで、認識をアップデートし、好循環を生み出す人・企業になるためのきっかけとなるフォーラムとなりました。乙訓青年会議所から、田中（望麻）副議長、谷小幹事、平木小幹事、河地議員、髙橋議員が出向されています。今後も乙訓青年会議所メンバーの出向先での活躍を広報誌やＳＮＳなどで発信してまいりますので、応援の程よろしくお願い申し上げます。



次回例会案内

【２月例会】(対内事業)

乙訓青年会議所はメンバーが減少傾向にあり、メンバー全員が組織の状況と未来の危機をより一層、共有するためにも、今一度、組織の現状を理解し、新たな拡大手法を備えたうえで、メンバー一人ひとりが主体者意識をもった会員拡大を行う必要があります。乙訓青年会議所の現状を全メンバーと共有する機会を創出するとともに、新たな会員拡大手法を取り入れ、乙訓青年会議所のメンバー一人ひとりが、全員全力で会員拡大を行っていくことを目的に２月例会を開催致します。

【開催場所】長岡京市中央公民館　３階　市民ホール

【日　時】２月１３日(木)
１８：３０～２１：００(登録開始１８：００)

【担当委員会】魅力拡大委員会

新入会員募集

青年会議所は『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、『奉仕・修練・友情』を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。

乙訓青年会議所では地域の発展を担う青年経済人とのネットワークを広げ、夢を語り合える仲間として、ともに活動して頂ける方を随時募集しております。

ご興味ございます方は

公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）

までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　2名

正会員数　49名

（2020年 1月24日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階　編集／共感創造委員会

一月例会・新春交歓会

一月八日（水）ハイアット・リージェンシー京都にて、二市一町の首長をはじめ行政関係者の皆様、地域諸団体の皆様、乙訓青年会議所ＯＢとなる飛竹会 山口会長をはじめ特別会員の皆様、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会また京都ブロック協議会の役員の皆様、府内各地青年会議所 理事長をはじめ役員・メンバーの皆様をお招きし、公益社団法人乙訓青年会議所二〇二〇年度「一月例会・新春交歓会」を開催させて頂きました。

一月例会にて、ご来場頂きました皆様にご理解を賜るべく、第四十一代理事長・達城英治より、本年度のスローガン「全員全力～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」のもと定めた一年間の運動の方向性をお話しさせて頂きました。また乙訓青年会議所のメンバー自身の意識も統一することができ、組織が一枚岩となり活動していく気概をもつことができました。

新春交歓会では、冒頭、創始の志から始まり、先輩諸兄姉の皆様が脈々と受け継がれてきた乙訓青年会議所の歴史をオープニングムービーで披露した後、役員となる正副理事長の紹介、委員会の紹介、出向者の紹介を行い、二〇二〇年度の活動の方向性をお伝えすることができました。委員会では、「乙訓ハカ」を披露させて頂き、新春を祝う餅つきを行いました。参加された皆様との信頼関係をさらに深め、今後の乙訓青年会議所の運動にご支援ご協力頂ける関係性を構築する機会となりました。

「一月例会・新春交歓会」を契機として、メンバー一人ひとりが青年会議所運動に全員全力で取り組むことで、益々の信頼関係の構築に繋がると考えます。また、達城理事長を筆頭に乙訓青年会議所メンバーが全員全力で活動のスタートが切れた記念すべき一日となりました。最後になりましたが、新年の大変お忙しい中、ご参集賜りました皆様には心から感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

乙訓JC懇親会

一月十八日（土）、乙訓青年会議所ＬＯＭナイト（懇親会）が京都市内「やまよし」で開催されました。二〇二〇年度の出向者を応援するために沢山のメンバーが集まり、出向者一人ひとりが今年の意気込みを発表し、出向に向けての士気を高めました。

後の二次会では、乙訓青年会議所ＯＢであり京都ブロック協議会歴代会長の伊藤邦夫先輩・齋藤円先輩・森田健司先輩が激励にお越し下さり、現役メンバーと様々なお話をして頂き、親交を深める貴重な機会となりました。

乙訓青年会議所から、京都ブロック協議会 小西副会長、国際貢献委員会 松宮委員、ＪＣムーブメント創造委員会 冨田副委員長・岡田委員・河地委員・田中（炳穂）委員、新時代のリーダー育成委員会 中野副委員長、河合委員・田村委員・菜島委員が出向されています。

また一月十七日（金）には、日本ＪＣシニア・クラブの会員新年会が開催されました。一九六〇年に設立された日本ＪＣシニア・クラブは、本年で六十周年を迎えられます。そして、公益社団法人乙訓青年会議所ＯＢであられます伊藤邦夫先輩が、日本ＪＣシニア・クラブブロック会長を代表して鏡割りを行われ、乙訓青年会議所現役メンバーに誇りと気概を与えて頂きました。日本ＪＣシニア・クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

近畿地区協議会地区ナイト

一月十七日（金）、ウェスティン都ホテルで、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 近畿地区ナイト（懇親会）が開催されました。二〇二〇年度近畿地区協議会に出向しているメンバーが一堂に会し、本年度のスタートを切るに相応しい賑やかな懇親会となりました。また、委員会毎に登壇し、委員長の抱負を聞くことで、委員会メンバーは改めて出向への決意を新たにしました。公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会では「あらゆる個性と美意識が結びつく近畿の実現」を基本理念に、青年会議所のもつネットワークを活かし、社会の各分野と繋がりを深めていくことで、物心両面において豊かな未来を創造してまいります。乙訓青年会議所からは、イノベーション創出委員会に 上原委員長・小林副委員長・姜総括幹事・島本委員が、地域社会貢献構築委員会には 山口副委員長・藤田小幹事・西條委員・西田委員が出向しております

事務局開き

一月六日（月）、乙訓青年会議所のオフィシャルスタートである事務局開きを開催しました。本年度は事務局開きの前に正副・理事メンバーで、長岡天満宮を参拝し、新春の青空のもと、二〇二〇年度の活動が無事に成功裏に終えることができるよう、祈願致しました。また、後の事務局開きでは達城理事長の挨拶のもと、正副・理事メンバーが一つになって一年間活動することを全員で決意致しました。二〇二〇年度乙訓青年会議所は全メンバーが何事においても全力で活動を行い、地域の皆様から共感とさらなる信頼を得られる組織として活動してまいります。

青松会初釜

一月十三日（月）、乙訓青年会議所・茶道同好会である乙訓青松会の初釜が開催されました。初釜とは、新しい年を迎えた最初に行うお茶会のことを指します。先輩諸兄姉とともに懐石料理を頂き、茶道裏千家正教授・西村先生のお点前を拝見し、お濃茶を頂くことで、お互いの交流をさらに深めることができました。本年度、乙訓青松会は十五周年という大きな節目を迎えるにあたり、皆様への感謝とおもてなしの心を再認識し、会員一同が気持ちを一つにする大切な機会となりました。

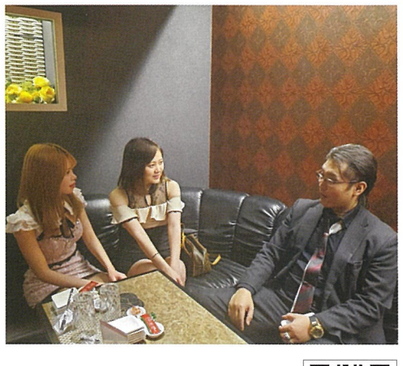
乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

メンバープロフィール

名　前	畠山 武士 【はたけやま たけし】
所属委員会	共感創造委員会
役　職	委員
入 会 年	2020年

共感創造委員会より一言

1月入会の畠山くん。プロのマジシャンという一面もあり、皆さんを楽しませて笑顔にするプロフェッショナルです。これからの乙訓青年会議所での活躍に期待です！



畠山委員の全力動画はこちら→

全力で取り組んでいること

【笑顔になってもらえる店作り】

お客様にはもちろんですが、お店のキャストにも、従業員にも笑顔になってもらえるような、そんな店作りを心掛け、全力で取り組んでいます。

乙訓TIMES

OTOKUNI News Paper

乙訓JCホームページ　乙訓JCインスタグラム　乙訓JCフェイスブック

2020年1月号

CONTENTS

達城理事長による新年のご挨拶
2020年度委員長の意気込み
12月例会報告
12月卒業式・忘年会報告
2019年事業報告
乙訓メンバーの全力通信

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。平素は、公益社団法人乙訓青年会議所に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年度、私たちは創立四十周年を迎え、記念式典・懇親会、記念事業を開催させて頂きました。その際には二市一町の首長をはじめ、多くの地域諸団体の皆様や先輩諸兄姉の皆様にご協力を頂き、成功裏に終えることができたことに対しまして感謝申し上げます。

さて、私たち公益社団法人乙訓青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現に向けて、より良い乙訓（まち）となるよう日々運動を行っております。私たちの乙訓（まち）は人口も緩やかに増加し、高い利便性と豊かな自然や優れた歴史文化遺産により、調和のとれた乙訓（まち）として発展しております。しかし、令和の時代、人口減少、少子高齢化、情報の複雑化による環境の変化と様々な社会変革が予想されているなかでは、私たちの乙訓（まち）においても先行きは不透明であると考えています。そんな激しい時代の流れのなかだからこそ、様々な職種や年代の青年経済人が集まる私たちは「自分たちの乙訓（まち）を自分たちで創る」という意識をもち、乙訓（まち）の未来を明るく導く存在であり続けたいと考えています。二〇二〇年度のスローガンは「全員全力！～信じる心で誇りと未来を創造しよう～」とさせて頂きました。私たちが青年らしく全力で四十周年に新たに策定した未来Ｖｉｓｉｏｎ「まちと人が愛を実感する乙訓の実現」に向け運動を展開することで、激しい時代の流れのなかでも一際輝く、誇れる乙訓（まち）を創造していきたいと考えています。一九七九年の創立から四十年間、乙訓（まち）を想い運動を展開してこられた先輩諸兄姉と、これまで関わりをもってくださっている市民、行政、地域諸団体の皆様への敬意と感謝を胸に会員一同、何事にも「全力」で取り組む所存です。四十一年目を迎える乙訓青年会議所の運動に、多くの市民、行政、地域諸団体、先輩諸兄姉の皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

二〇二〇年　元旦

公益社団法人乙訓青年会議所

第四十一代理事長　達城　英治

乙訓ふるさとふれあい駅伝報告

第十六回乙訓ふるさとふれあい駅伝～』が十一月三十日に開催されました。駅伝では仲間とともに切磋琢磨しながら、自らのふるさとを駆け抜けた思い出は愛郷心を育む一助となりました。また、沿道での警備、応援等で地域の大人が自分たちをしっかり見守ってくれていると感じてもらうことで、青少年の健全な育成に繋がったことと思います。当日、ご協力頂きましたメンバーの皆様におかれましては子供たちの安心・安全のために、尽力して頂きましたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

文化少年団報告【12月餅つき】

長岡天満宮にて乙訓文化少年団十二月事業を開催し、多くの子供たちと「餅つき」を致しました。慣れない手付きでお餅をついたり、自分自身でこねたりするなど、普段では味わえない体験になったことだと思います。また、笑顔でお餅を食べている姿を見ますと、一年間の活動が無事に終えられたことに安堵致しております。四月から始まりました二〇十九年度の乙訓文化少年団事業では多くのメンバーにサポートして頂きまして本当にありがとうございました。

乙訓メンバーの全力通信～全力青年～

プロフィール

名前：　姜 星輝【かん そんふぃ】

所属委員会：　信頼構築委員会

役職：　幹事

入会年：　2018年

共感創造委員会より一言

今年度は近畿地区協議会に出向される姜幹事です。
2018年入会ですが、例会や委員会、事業の活動に積極参加され、乙訓青年会議所の次代を担う人材です。
出向やLOM役職での経験が乙訓青年会議所に新風を巻き起こしてくれるでしょう。

姜幹事の全力動画はこちら→

全力で頑張っていること

「お客様に楽しい気持ちになって頂くこと」

一生に一回の来店であったり、特別な日に来て頂いたかも知れないお客様に、心が温かく、楽しい気持ちになって頂くため、スタッフ一同行動出来るように、人材育成や店作りをしています。

次回例会案内

【１月例会・新春交歓会】

第４１代　達城理事長が掲げるスローガンのもと、一年のスタートを切るとともに、ご来賓・特別会員の皆様に２０２０年度の乙訓青年会議所の方向性・活動内容をご理解して頂きます。後の新春交歓会におきましては、正会員メンバーと参加者の懇親・信頼関係をさらに深め、お互いの関係性の構築を目的に開催させて頂きます。

【開催場所】ハイアット・リージェンシー京都 １階
（１月例会）　ボールルームⅠ
（新春交歓会）ボールルームⅡ

【日時】１月 ８日(木)
（１月例会）　１７：３０～１８：３０(登録開始１６：３０)
（新春交歓会）１９：００～２１：００(登録開始１８：３０)

【担当委員会】信頼構築委員会

新入会員募集

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動を行っている20歳から40歳までの青年経済人の集まりです。
地域の産業を担う青年経済人とのネットワークを広げ、乙訓の未来を創るために夢を語り合える仲間として、共に活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。ご興味ございます方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（075-957-1230）までご連絡下さい。お待ちしております。

2020年度入会者数　0名

正会員数　50名
（2019年12月24日現在）

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3-10-16 長岡京市産業文化会館2階 編集／共感創造委員会

活動報告

十二月例会

十二月十四日（木）ハイアットリージェンシー京都にて、三浦理事長が掲げられた「『新』に挑む～志を胸に新たな価値を創造しよう～」のスローガン、テーマのもと、活動してきた一年間の集大成として十二月例会が開催されました。褒賞授与式では、顕著な活躍をされたメンバーを称え、受賞者から喜びの一言を頂きました。委員長総括では、委員長から一年間の活動の総括とともに委員会メンバーへ労いの言葉をかけて頂きました。理事長総括では三浦理事長から全体の総括をして頂き、本年度を締めくくることができました。理事長バッジ・直前理事長バッジ交換、並びに、プレジデンシャルリース伝達式では、次年度への活動に向けた新たな一歩を踏み出せました。

【二〇一九年度褒賞受賞者】

◆特別功労賞　崔　祥龍君
三浦　靖君
◆出向者特別賞　坂元　陸君
嶋田　剛士君
山城　直也君
◆最優秀新人賞　小林　大希君
◆優秀会員賞　林　哲司君
◆最優秀会員賞　松宮　一貴君

卒業式

二〇十九年十二月十二日（木）ハイアットリージェンシー京都にて、公益社団法人乙訓青年会議所卒業式が行われました。未年にちなみ、ひつじ柄の紅白ネクタイで揃えた卒業生がスポットライトを浴びながら登壇されました。卒業スピーチでは、卒業生一人ひとりがＪＣでの想いを振り返りながら、先輩や現役メンバーとの心に残るエピソードや人間模様を熱く語られていました。花束贈呈では、卒業生に縁のある現役メンバーより花束が渡され、熱い抱擁が交わされていました。最後に会場中央に花道をつくり卒業生を送り出す風景は感動的で、達成感に満ち溢れたフィナーレを迎えていました。卒業生の皆様の一層のご活躍を心よりお祈り致します。

忘年会

二〇十九年十二月十二日（木）ハイアットリージェンシー京都にて、公益社団法人乙訓青年会議所忘年会が開催されました。「新に挑む」～志を胸に新たな価値を創造しよう～をスローガンに掲げ、三浦靖理事長のもと、メンバー一丸となって邁進してきた二〇十九年の一年間を、オープニング映像、理事長挨拶、新入会員紹介、出向者紹介とともに振り返りました。先輩諸兄姉やメンバーの間で杯が交わされ、本年度の活動を支援して頂いた先輩諸兄姉へ感謝の気持ちや一年間の活動の労いの言葉で、会場は大いに盛り上がっていました。最後に小西専務理事の挨拶により一本締めを行い、参加者全員の絆がより強固なものとなった忘年会となりました。

ＦＴセミナー

今後の乙訓青年会議所を牽引する人財となるべくＦＴセミナーを開催致しました。二日間のＦＴセミナーでは、乙訓ＪＣ ＦＴプログラムを受講し、ＪＣの歴史や成り立ち、目指すべき方向性を理解するとともに模擬理事会を開催し、理事メンバーから意見を頂戴し、さらなる事業の向上を目指しました。翌日、ＦＴメンバーは、乙訓文化少年団の子供たちを対象に計画した事業を行いました。ＦＴメンバーの皆様には、長期間事業に向き合って頂き、また、メンバーの皆様には様々な場面で応援して頂きましたことを感謝申し上げます。

2020年度 委員長の意気込み

魅力拡大委員会

佐々木 彰吾

近年、乙訓青年会議所の会員数減少が問題視されているなか、我々は先輩諸兄姉より受け継がれてきた情熱と志を守り、今後も地域に影響を与え続ける組織を継続し、我々の運動を継承してくれる仲間を一人でも多く集め、地域に根差した運動を展開していく必要があります。本年度、会員拡大を担当します魅力拡大委員会としまして府内十二ロムのなかで、一番の拡大を達成することを責務とし活動します。そして、我々が全員全力の精神でロムの会員拡大に邁進することで、乙訓青年会議所を今まで以上に情熱と誇りをもった組織にしたいと思います。

青少年育成委員会

山城 直也

青少年育成委員会では、自尊感情や規範意識の低下などの傾向が指摘されている子供たちに、困難なことにも全力でチャレンジする心や、仲間や周囲の方々を大切にする気持ちを学んで頂き、これからの時代の中で、未来を切り拓いていく人財に育つ環境を創ります。そして、委員会メンバーとともに自ら好んで行動する力「好動力」をもって全力で活動を行い、未来を担う人財である子供とともに我々メンバーも仲間とともに自信をもってチャレンジし続け、明るい未来の創造に繋げていきます。

地域未来創造委員会

林 哲司

二〇二〇年度、地域未来創造委員会の委員長というまちづくりの大役を仰せつかりまして、身の引き締まる思いが致します。一年間、ＪＣ活動に対して委員会メンバーの時間を預かることになりますが、常に志を高くもち、その時間を最大限に活用し、委員会メンバーのやりがいに繋げていきたいと考えております。まちづくりには人びとの協力が不可欠です。地域未来創造委員会は「心を動かす」をテーマとして、常に意識変革の姿勢を見失うことなく、委員会メンバー一人ひとりが敬意と感謝の精神をもち、一年間全力で楽しく活動してまいります。

総務財政委員会

嶋田 剛士

まず、委員会メンバーの成長を考え、自身で全てを完結してしまわず各役割を全うして頂きます。そして、委員会メンバーがより活動意識が向上でき、参加したくなるよう、私自身の何事も「楽しむ」性格で、楽しい委員会運営を行います。さらに、人のために何事も完璧にこなし、メンバーが総務財政委員会に配属された誇りを醸成します。また、他の委員会が努力を重ね、準備を重ねて、実施する事業などには、その過程を一番近くで見ている委員長として、その委員会のために参加をし、メンバーにも参加を促し、学びの機会の提供に繋げます。

信頼構築委員会

佐伯 昌裕

信頼構築委員会は、乙訓青年会議所メンバー同士の絆をさらに深め、全員が全力でＪＣ活動に取り組めるように、各事業や各懇親会の場において信頼関係の構築に繋がる活動をしてまいります。お互いを尊敬し合う心や感謝の気持ちをもち、一人ひとりの能力を生かし補い合えば、必ず全員が誇れる乙訓（まち）を創る力を生み出せるはずです。そして、この一年間を通して、「日々感謝」の気持ちを忘れることなく誇りと向上心を常にもち、誰からも信頼される人間となれるように行動するとともに、二〇二〇年度が一生涯の財産となるように活動していきます。

共感創造委員会

山脇 裕文

本年度、共感創造委員会では、地域の方々に対して心を揺さぶる強い発信力をもって乙訓青年会議所の認知度を向上させるとともに、共感や信頼に繋がる広報として活動してまいります。また、近年、経験年数が少ない正会員が多いなかで、意欲をもって青年会議所活動をすることに繋がる「誇り」を実感してもらえるよう、活動してまいります。むすびに、共感創造委員会メンバーには組織の広報の重要性を理解して頂き、共感創造委員会に配属されてよかったと思って頂けるように努めます。一年間どうぞ、よろしくお願い致します。

人財育成委員会

下戸 一晃

人財育成委員会委員長として、メンバーの成長を第一に考え一年間を通して学びのある事業を開催させて頂きます。人は多種多様な課題に直面します。三回の例会を通してメンバーが自身の課題に人びとを巻き込み、課題解決へと立ち向かう人財へと成長して頂きます。また、地域に影響を与え、人びとを課題解決への協働に導く人物へと成長して頂きます。二〇二〇年十二月に自身の成長を実感して頂けるように一年間全力で活動致します。